

長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

図面リスト							
区分	No.	図面名称	縮尺	区分	No.	図面名称	縮尺
意匠	1	特記仕様書(1)	—————		22	(Ⅲbタイプ)B-3-1・B-3-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50
	2	特記仕様書(2)	—————		23	(Ⅲbタイプ)B-3-1・B-3-2号 立面図	1/100
	3	特記仕様書(3)	—————		24	(Ⅳaタイプ)B-4-1・B-4-2号 1階平面詳細図	1/50
	4	特記仕様書(4)	—————		25	(Ⅳaタイプ)B-4-1・B-4-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50
	5	配置図・付近見取図	1/700・1/2500		26	(Ⅳaタイプ)B-4-1・B-4-2号 立面図	1/100
	6	(Ⅳdタイプ)A-1-1・A-1-2号 1階平面詳細図	1/50		27	(Ⅳaタイプ)B-5-1・B-5-2号 1階平面詳細図	1/50
	7	(Ⅳdタイプ)A-1-1・A-1-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50		28	(Ⅳaタイプ)B-5-1・B-5-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50
	8	(Ⅳdタイプ)A-1-1・A-1-2号 立面図	1/100		29	(Ⅳaタイプ)B-5-1・B-5-2号 立面図	1/100
	9	(Ⅳdタイプ)A-2-1・A-2-2号 1階平面詳細図	1/50		30	(Ⅲbタイプ)C-1-1・C-1-2号 1階平面詳細図	1/50
	10	(Ⅳdタイプ)A-2-1・A-2-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50		31	(Ⅲbタイプ)C-1-1・C-1-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50
	11	(Ⅳdタイプ)A-2-1・A-2-2号 立面図	1/100		32	(Ⅲbタイプ)C-1-1・C-1-2号 立面図	1/100
	12	(Ⅳdタイプ)A-3-1・A-3-2号 1階平面詳細図	1/50		33	(Ⅳcタイプ)C-2-1・C-2-2号 1階平面詳細図	1/50
	13	(Ⅳdタイプ)A-3-1・A-3-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50		34	(Ⅳcタイプ)C-2-1・C-2-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50
	14	(Ⅳdタイプ)A-3-1・A-3-2号 立面図	1/100		35	(Ⅳcタイプ)C-2-1・C-2-2号 立面図	1/100
	15	(Ⅲaタイプ)B-1-1・B-1-2号 1階平面詳細図	1/50		36	(Ⅳbタイプ)C-3-1・C-3-2号 1階平面詳細図	1/50
	16	(Ⅲaタイプ)B-1-1・B-1-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50		37	(Ⅳbタイプ)C-3-1・C-3-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50
	17	(Ⅲaタイプ)B-1-1・B-1-2号 立面図	1/100		38	(Ⅳbタイプ)C-3-1・C-3-2号 立面図	1/100
	18	(Ⅲaタイプ)B-2-1・B-2-2号 1階平面詳細図	1/50		39	断面詳細図(瓦屋根タイプⅠ)	1/20
	19	(Ⅲaタイプ)B-2-1・B-2-2号 2階平面詳細図・屋根伏図	1/50		40	断面詳細図(瓦屋根タイプⅡ)	1/30
	20	(Ⅲaタイプ)B-2-1・B-2-2号 立面図	1/100		41	断面詳細図(陸屋根下屋タイプ)	1/30
	21	(Ⅲbタイプ)B-3-1・B-3-2号 1階平面詳細図	1/50				

株式会社 大村建築設計事務所

2023年5月

長浜地区改良住宅外壁等改修工事（第五期）	令和5年5月
----------------------	--------

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所	滋賀県長浜市千草町
2. 工事種目	建築工事 外壁・軒防水他改修工事
3. 工事概要	<p>1 外壁改修工事 既設外壁水洗い工法、下地調整の上層塗材Eローラー仕上げ塗り PC目地シーリング打替、クラック補修、断面欠損補修を施工する。 何れも増築部分は、施工範囲外(詳細は図示)とする。</p> <p>2 補修改修工事 既設壁礎、掘み金物、受金物、撤去新設 何れも増築部分は、施工範囲外(詳細は図示)とする。</p> <p>3 塗装改修工事 廻り縁、鉄製庇、軒天換気金物、樹脂製換気扇フード、壁換気ガラリ、 電気配管、LPG固定金物等はDP塗りとする。 何れも増築部分は、施工範囲外(詳細は図示)とする。</p> <p>4 防水改修工事 屋根 既設アスファルト防水(保護コン含む) 水洗い・下地調整(C-2)の上、塗膜防水 屋根 既設塩ビシート防水 水洗い・下地調整(C-2)の上、塗膜防水 軒 既設FRP防水 水洗い・下地調整(C-2)の上、塗膜防水</p> <p>5 シーリング 外部建具廻り、庇廻り、巾木上、ガラリ、フード廻り、増築取り合い部分等 改修工事 何れも増築部分は、施工範囲外(詳細は図示)とする。</p> <p>6 瓦屋根改修工事 健全部 現況のまま 劣化部 撤去新設</p> <p>7 その他不良箇所 既設外部建具、積りはクリーニングを行うこと。 等改修工事 何れも増築部分は、施工範囲外(詳細は図示)とする。</p>

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修仕様」という。)により、また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「仕様」という。)による。最新版を購入の上、工事を行うこと。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) [G]印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①適用基準等	○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和4年版) 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版)
	②工事実績情報の登録(CORINS)	※適用する [1. 1. 4]
	3 品質計画等	・建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※風速(V ₀ =) ※地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪区分 H12告示第1455号 別表()
	4 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 不要 [1. 3. 3]
	5 条件明示項目	・現場説明書による [1. 3. 5]
	⑥発生材の処理等	※現場説明書による ○横外搬出適切処理 [1. 3. 8]
	⑦建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の項目を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。

また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

本工事の建物に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

適用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴムシート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシートーチ工法防水工作業 ・FRP防水工作業 ・左官作業 ・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業 ・外壁改修樹脂注入
建具改修工事	・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業 ・自動ドア工作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工作業 ・鋼製下地工作業 ○左官作業 ・壁装作業 ・大工工作業 ・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業 ・型枠工作業 ・とび作業 ・鉄筋組立作業
コンクリートブロック・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工作業 ・エーエルシーパネル工作業
石工事	・石張り作業
補装工事	・造園工作業

⑧化学物質を発散する建築材料等

9 特別な材料の工法

10 技能士 [1. 6. 2]

11 化学物質の濃度測定 [1. 6. 6]

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定 ・行う
測定対象室 ・図示
測定箇所数 ・図示
報告の様式等については、現場説明書による。
文部科学省の「学校環境衛生の基準 第2章」に基づき、VOC、VOCの測定を行いそれぞれの濃度が基準以下であることを確認すること。

⑫完成図等 [1. 8. 1~3] [表1. 8. 1]

○既存図面修正 設計図の全てとする
※作成する 提出部数 A3版現場製本(2部)、A2版現場製本(1部)電子媒体(CD-R)
種類 ※改修標仕表1. 8. 1による。
ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。

◎施工計画書 提出部数 ※2部 ・部
◎施工図 提出部数 ※1部 ・部
・保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・部
・竣工引継書 提出部数 ※2部 ・部
・工事着工前に設計図の現場製本A3サイズ2ツ折×2冊、A2サイズ2ツ折製本2冊を提出すること。
工事名等必要事項は黒文字打ち込みとする。

13 設備工事との取り合い
14 設計GL

⑮工事写真

16 産業廃棄物の処理

17 建設リサイクル法

18 設計図の製本

⑰現場代理人

⑱保険等
⑳安全対策

㉑施工体制点検
㉒下請け業者の選定

24 取扱説明書の作成

25 公共工事施工環境配慮チェックシート

㉔環境配慮

㉕軽微な変更

㉖申請等

㉗不当介入に関する通報制度

㉘改修範囲外

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
※図示 ・設計GL=現状GL

工事監理写真はカラーとし、その内容が明確に判別できるものとする。デジタル写真とする場合、使用するデジタルカメラの総画素数は300万画素以上、記録画素数は640×480画素以上とする。
下表のとおり、定期提出分を除き各住戸毎に撮影する。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
着工前	サービス版	・ ○ 9 ・ 30	2	工事範囲外の増築部分の着工前、着工後の写真を、1棟につき10枚程度撮影する
工事中	サービス版	各工程毎	1	必要に応じ撮影する
完成時	サービス版	・ ○ 9 ・ 12	2	完了届提出用
定期提出	サービス版	※・ 3 ○ 6 ・ 9	1	工事月報用
竣工写真	※ サービス版 ・ キャビネット版	・ ・ 4 ・ 7	1	主として外観
	サービス版	・ ・ 10 ・ 20	0	主として内観

上記写真については、銀版写真の場合はネガ、デジタル写真の場合はファイル形式をJPEGとし、DVD-Rに提出すること。

工事写真の撮影場所は、「工事写真の撮り方・建築編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。完成写真の撮影場所は監督員の指示による。 工事写真キャビネットはアルバム台紙に、サービス版は工事写真帳に貼り付けて提出すること。

⑰ 産業廃棄物の処理
請負人は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。
1. 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の2. 「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。また再生資源利用(促進)計画書および同実施書を作成し速やかに報告のこと。
3. 請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第12条の3によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。
再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。を行うこと。(事前届出も含む)また、届出の費用は請負者の負担とする。

18 設計図の製本
工事着手前に製本を作成し、監督員に提出のこと。 サイズ A3 3部、A2 1部

⑰ 現場代理人
イ 長浜市現場代理人の常駐に関する運用規定(28.7.1)に従い現場代理人を指名し届けること。
ロ 現場代理人は、監督員に請負人との直接的な雇用関係の確認出来るもの(健康保険証の写し等)を「現場代理人等届」に添付しなければならない。また、変更が生じた場合は速やかに「現場代理人等変更届」を提出し同様の確認を受けなければならない。
ハ 主任(監理)技術者も同様の確認を受けなければならない。
ニ 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。

請負人は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。
◎ 工事車両の出入りについては、現場協議の上決定とし、安全管理員を配置して危険防止に努めること。
◎ 工事車両の出入りについては、速度制限を厳守し、危険防止に努めること。また、必要に応じて交通整理員を配置するとともに、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のおそれがある場合、工事全般にわたる対策を講ずること。また、施設運営についても担当者や協議を行い、支障のなきよう努めること。
○ 別添設計計画図・配置図等により示された仮設計画を参考に、請負人にて構造、施工方法について十分検討のうえ、関係法令に従い安全堅固に設置すること。
「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に従い、施工体制を講ずること。
各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。

24 取扱説明書の作成
竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。(部数、詳細については、監督員の指示による。)

25 公共工事施工環境配慮チェックシート
請負人は別途配布の公共工事施工環境配慮項目およびチェックシートを記入し、監督員に提出すること。

26 環境配慮
使用電力、燃料等の使用を抑制及び低騒音・低振動の使用機器・重機の選択をし施工すること。
又、アイドリングストップに努め効率的な施工計画をたて省エネ施工に努めること。
設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としない。又、その費用(手数料共)は一切請負者負担とする。
本工事における、官公庁の各検査及び完了にかかる消防法等、全ての法的検査は請負者にて行うものとする。
又、その費用(手数料共)は一切請負者負担とする。

29 不当介入に関する通報制度
1. 請負者は、暴力団員等による不当介入(不当な要求又は業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うものとする。
2. 請負者は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により、監督職員に報告するものとする。また、請負者は、以下のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。
3. 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

30 改修範囲外
受注者は、工事の着手前及び完了後に、自ら必要と思われる箇所の調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は、請負人の責任において現状に復旧すること。

DRAWN	・ ・ ・	管理建築士 一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録(ホ)152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749)62-2651	◆TITLE◆ 長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)	◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-1 41枚/内 ◆SHEET No◆
DATE	・ ・ ・				特記仕様書(1)					
CHECK	・ ・ ・									
DATE	・ ・ ・									

① 一般共通事項

31 石綿含有建材の事前調査

1. 石綿障害予防規則および大気汚染防止法に基づき、石綿に係る事前調査結果の報告(石綿事前調査結果報告システム等)を行うこと。(報告先: 労働基準監督署、県環境事務所)
2. 調査結果は公衆の見やすい場所に作業開始前に掲示すること。
掲示板サイズ : A3サイズ (42.0cm×29.7cm) 以上
3. 監督職員に調査の結果を報告し、設計図書と内容が異なる場合は協議を行うこと。
4. その他
調査範囲 ・当該施工範囲 ○図示
貸与書類 ○建設当初図面 ○石綿調査報告書
報告検体数 ○6検体(外壁吹付材)

② 仮設工事

① 足場その他

内部足場 種別 ※きやつ、足場板等 [2. 2. 1]
外部足場 種別 ※A種 ○B種 ・C種 ・D種 [2. 2. 1] [表2. 2. 1]
メッシュシートによる養生 ※行う ・行わない

② 養生

材料、撤去材等の運搬 [2. 2. 1] [表2. 2. 2]
・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種
既存部分の養生 ※ビニルシート等 ○既存増築建物等では必要に応じて道板、コンパネ養生 [2. 3. 1]
既存屋外空調機、風呂釜、オイルタンク、ホィイラー等の養生 ※ビニルシート等
建物外部周囲の床養生 ※ビニルシート等
増築建物内部で作業を行う場合は、既存建物内部及び物品等の養生を全面行うこと。
増築建物等の屋根上で足場架け、作業等を行う場合は、道板敷き、コンパネ敷きシート養生を行う。

③ 物品その他の移動

工事に支障のある 増築建物内部及び外部の私物備品類は原則として居住者が移動するが、重量物、設備機器類等の移動は、請負工事に含む。
本改修工事を施工するに当り、施工上支障のある物品等(設備機器類、冷暖房配管、室外機、電気露出配管、配線、BS、CSアンテナ、(入居者私物品(洗濯機、冷蔵庫、棚、タンス井戸ポンプ小屋、すだれ、流し台等)給排水、給湯露出配管、その他)一切は一時移動し工事を完了後復旧とする。
既存物品、設備機器類の移動復旧に伴う破損、機能減衰、その他の損傷は請負業者の責任において誠意を持って対応し、問題解決を行い補償等が発生した場合はその責任を負うこと。
○既存建物の空家1戸を利用可能とする。 [2. 4. 1]

④ 現場事務所

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる ○有償 ・無償
構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる ○有償 ・無償
防護シート張りH=2.0m、シートゲート W3.6×H4.5
仮設計画を立案し、監督員と協議すること。

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水

Table with columns: 防水改修工法の種類, 施工箇所, 新規防水層の種類. Rows include 保, 種, 防, 水, 露出, 防水, 屋内, 防水.

アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3. 2. 2] [3. 3. 2]
保護コンクリートのコンクリート種類 ※無筋コンクリート [3. 3. 2]
POD工法の二重ドレン ※設けない ・設ける [3. 2. 5]
M3D、POD工法の脱気装置 ※設けない ・設ける [3. 3. 3]
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・除去する [3. 2. 6]
断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 [3. 3. 2]
ただし、ノンフロンのもの[G]に限定する。

2 改質アスファルトシート防水

Table with columns: 防水改修工法の種類, 施工箇所, 新規防水層の種類, 厚さ(mm). Rows include M4AS工法, M3AS工法, POAS工法, M3ASI工法, M4ASI工法, POASI工法.

ドレン ※既設ストレーナー撤去、鉛ドレン新設
下地処理 ※高圧水洗浄(草等撤去) ・カチオン系下地調整
既存伸縮目地 ※撤去しアスファルトコンパウンド流込み
立上り部 ※保護モルタル、レンガ撤去
脱気装置 ※設けない ・設ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

④ 塗膜防水

Table with columns: 工法, 種別, シートの種類, シートの厚(mm), 施工箇所, 仕上塗料塗り, 使用分類. Rows include 接着工法, 機械的固定方法.

脱気装置 ・設ける ・設けない [3. 5. 3]
目地処理 PCコンクリートの場合 () [3. 5. 4]
[表3. 1. 1] [3. 6. 3] [表3. 6. 1]

Table with columns: 防水改修工法の種類, 施工箇所, 新規防水層の種類, 仕上塗料塗り. Rows include POX工法, L4X工法.

既存アスファルト防水層 ・除去する ○不良部切開、焼付処理、水洗い [3. 2. 6]
既存仕上がりFRP防水、塗膜防水 ○水洗い
既存仕上がり塩ビシート防水○除去する((C-1)既設防水撤去～新設防水層施工までの間、雨漏れ等無いよう適切に養生を行うこと) [3. 6. 3]

脱気装置 ※設けない ○設ける
○下地処理: カチオン系下地調整
[3. 3. 3] [3. 4. 3] [3. 5. 3]

Table with columns: 種類, 材質, 設置数量. Rows include 平面部脱気型, 立上り部脱気型.

⑤ 脱気装置

⑥ シーリング

シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4] [表3. 1. 2]
・シーリング充てん工法 ○シーリング再充てん工法
・拡幅シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所 [3. 7. 2] [表3. 7. 1]
※下表以外は、改修仕様表3. 7. 1を標準とする

⑦ とい

といの材質 [3. 8. 2] [表3. 8. 1]
・耐候性向上特殊樹脂塗装硬化塩化ビニル樹脂管(カラー) ○スチール芯入り硬化塩化ビニル樹脂
・硬化塩化ビニル樹脂角型(前高)W120(折板用)
軒種 : アイアン丸105(バナソニック)同等品以上
軒種 : 折板120 1型 前高(バナソニック)同等品以上
壁種 : φ60、(バナソニック)同等品以上
受金物、擦み金物 : スチール製重鉛メッキ品又はSUS製(既製品)とする。
掃 除 口 ※有り ・無し
緩どい、軒種 受け金物の取付け(軒種φ450以下、タテ種φ900内外) [3. 8. 3]
軒種受金物: 雪国用箱型正面打105用 スチール製重鉛メッキ品(タカヤマ金属工業)同等品
タテ種擦み金物: 蝶番式リブ付バンド スチール製重鉛メッキ品(タカヤマ金属工業)同等品
※図示 ・標仕13. 5. 3(d)(2)による

8 アルミニウム製笠木

Table with columns: 種類, 呼称肉厚(mm), 表面処理, 固定間隔, 備考. Rows include 250形, 300形, 350形, 100形, 400型.

9 折板葺

板材折曲げ形の取付工法 ・図示 [3. 9. 3]
(13. 3. 2, 3) (表13. 2. 1)
形 式 ※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形
形状(mm) 山高(165) 山ピッチ(333) 板厚 ※0.6 ○0.8
材 料 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (カラーガルバリウム鋼板) (規格等)
軒先面戸板 ※有り ・無し
断 熱 材 ※有り(種別): 厚さ: (mm) ・無し
耐火性能 ※30分耐火 ・無し

④ 外壁改修工事 共通事項

10 アルミニウム製水切り
10 屋根 瓦葺真塗装塗替

① 施工数量調査

調査場所 防水立上り端部、既設モルタル防水抑え上(図示)
厚、表面処理(A-1)、固定方法はメーカー標準工法による。
下地調整(ケレン3種)、高圧水洗浄、ハゼ部補強材張り(両側)
高強度圧膜アクリルゴム系防水 防錆工法(吹付)にて全面改修
(アロンQD防錆コートQB-1 溶剤タイプ 東亜合成同等品)

② 改修材料

調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1. 5. 2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数 ※2部

Table with columns: 保水率(%), 単位容積質量(kg/l), 接着強さ(N/mm^2), 長さ変化率(%), 曲げ強さ(N/mm^2). Rows include 70.0以上, 1.80以上, 0.60以上, 0.40以上, 0.20以下, 4.0以上.

Table with columns: 初期硬化性(標準), 接着強さ(標準), 圧縮強さ, 曲げ強さ, 硬化収縮率. Rows include 2.0N/mm^2以上, 6.0N/mm^2以上, 50.0N/mm^2以上, 30.0N/mm^2以上, 3.0(%)以下.

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

Table with columns: 性能, 常温物性, 低温性, 加熱変化, 引張接着性. Rows include 引張強さ, 伸び.

比重 表示値±0.10
押出し性 60秒以下
スランプ 3mm以下
加熱減量 5%以下
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

Table with columns: 接着強さ, 標準, 低温硬化, アルカリ温水, 冷熱水中繰返し, 熱劣化. Rows include 強度(N/mm^2), 凝集破壊率(%), 皮膜物性, 引張強さ(N/mm^2), 伸び(%).

貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。
b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。
c. 「化学物質の審査および製造等の規則に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e. ずれ抵抗性があること。
f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

Table with columns: 接着強さ, 圧縮強さ, 曲げ強さ. Rows include 1.0N/mm^2以上, 20.0N/mm^2以上, 10.0N/mm^2以上.

Table with columns: DRAWN, DATE, CHECK, DATE. Rows include . . ., . . ., . . ., . . .

管理建築士 一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)

Table with columns: SHEET TITLE, SCALE, MANAGER, CHECKED, DRAWN. Rows include 特記仕様書(2), A-2, 41枚ノ内, SHEET No.

4 外壁改修工事 共通事項

a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。
 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
 d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。
 e. 常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
 ポリマーセメントモルタルの種類
 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm ²)	圧縮強さ (N/mm ²)	接着強さ (N/mm ²)		
		標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上

保水係数 0.35～0.55
 粘調係数 0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全面分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm ²)	界面破断率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

注入材料 [4.2.2]
 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)

検査 (コア採取) ※行わない [4.3.4]
 ・行う (採取部の補修方法:)

○Uカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.6]

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.7]
 (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)
 ・パテ状エポキシ樹脂
 ・可とう性エポキシ樹脂

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.4.2] [4.6.3]
 (※シール工法の範囲)

○コンクリート下地ひび割れ部分
 ○ヘアクラック部は、既存ひび割れ部をケレン清掃し、カチオン系下地調整剤摺り込みとする。
 ○上記以外は、Uカットシール材充填工法とする。

既存モルタル面の欠損部 [4.1.4] [4.4.8、9]

改修工法の種類	材 料	品質・規格等
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル	

○モルタル塗替え工法 改修標仕4.2.2(g)による
 塗り厚25mmを超える場合の補強
 ※行う・行わない・図示

既製目地材・適用する(形状 ※図示)

3 欠損部改修工法

4 浮き部改修工法

改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充てん量 注入量
	一般部	指定部	一般部	指定部	
○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					※50ml
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

4 浮き部改修工法

4-1 外壁改修工事 コンクリート打ち仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] [4.6]

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	

注入材料 [4.2.2]
 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)

検査 (コア採取) ※行わない [4.3.4]
 ・行う (採取部の補修方法:)

・Uカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]
 ・パテ状エポキシ樹脂
 ・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法 ※充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]
 ・エポキシ樹脂モルタル
 ・ポリマーセメントモルタル

外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う (※全面・図示の範囲)

2 ひび割れ部改修工法
 ・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)

※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]
 (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	

外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去

2 ひび割れ部改修工法

1 既存タイル張りの撤去
 ・外壁タイル張り全面・図示の範囲
 撤去範囲 ※下地モルタルまで・張付モルタルまで・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法
 改修箇所 ※既存タイル張り面
 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面・モルタル面)

※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] [4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	

注入材料 [4.2.2]
 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)

外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

3 欠損部改修工法

検査 (コア採取) ※行わない [4.3.4]
 ・行う (採取部の補修方法:)

・Uカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面) [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] [6]

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.7]

接着材の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル ・タイル部分張替え工法用 接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ【であり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4] [4.5.8]
 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 [4.5.8] [表4.5.1]
 位置 ※改修標仕4.5.1による・図示

4 浮き部改修工法

改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充てん量 注入量
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					※25ml
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法					※50ml
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml

アンカーピン
 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの [4.2.2]

注入口付アンカーピン
 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm [4.2.2]

5 陶磁器質タイル張り

タイルの種類 [4.2.2] [4.5.7、8]

施工箇所	形状寸法 (mm)	きじ		うわぐすり		役物		色		再生材の		備考
		磁器	せつ器	陶器	施ゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注	適用	

役物: 標準的な曲がり(小口、標準、二丁、扉風)の役物は一体成形とする。
 タイルの見本焼き ※行わない・行う

壁タイル張りの工法 [4.5.7、8] [表4.5.3]
 外装タイル・密着張り・マスク張り
 タイルの試験張り ※行わない・行う

6 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.16]
 ・伸縮目地改修工法 [4.1.4] [4.5.16]
 シーリング用材料
 種類 ※改修標仕3.7.1による [3.7.2] [表3.7.1]

DRAWN . . .
 DATE . . .
 CHECK . . .
 DATE . . .

管理建築士
 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号

株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆
 特記仕様書 (3)

◆SCALE◆

MANAGER CHECKED DRAWN

A-3
 41枚ノ
 ◆SHEET No◆

4-4
外壁
改修
工事
塗り
上げ
外壁

① 既存塗膜等の除去 及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4. 6. 3] [表4. 6. 1~4]			
	工 法	処理範囲	下地面の補修	
	※サンダー工法	※既存仕上面全体	○ひび割れ部改修工法	
	・高圧水洗工法 加圧力 ※50MPa程度	※既存仕上面全体	○浮き部改修工法 ○欠損部改修工法	
	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体		
	○水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体		
	塗膜はく離剤 [4. 2. 2]			
	※下地調整塗材 [4. 2. 2] [4. 6. 3]			
	・ポリマーセメントモルタル			
	○一材型力チオン性ポリマーセメント系補修材厚2.0mm(コテ塗り)を標準とする。 (1.0mm:ローラー 2.0mm:コテ塗り)			
② 下地調整材	・防水形仕上げ塗材主材を使用 種類、仕上げの形状、工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [表4. 2. 3、4]			
	種 類	呼び名	仕上げの形状	
	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S i ・可とう形外装薄塗材S i ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 砂壁状	
	○複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材S i ○複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模倣 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う ◎レナラック(エスケー化研)同等品	
	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	
	防火材料の指定が必要な場合 [4. 2. 2] (15. 5. 2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。			
	※複層塗材Eの剥離、その他施工不良による瑕疵に対する保証は2年とし、保証書を提出すること			
	既存モルタル面の欠損部 [4. 1. 4] [4. 4. 8、9]			
	改修工法の種類	材 料	品質・規格等	
	・充てん工法	ポリマーセメントモルタル		
○モルタル塗替え工法	改修標準仕4. 2. 2 (g)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う・行わない・図示		
既製品地材 ・適用する(形状 ※図示) [4. 2. 2]				
③ 仕上げ塗材仕上げ	◎樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4~6]			
	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上~1. 0未満	※200~300	※
	樹脂注入工法			
	○手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上~0. 3未満	※50~100	※40
	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上~0. 5未満	※100~200	※70
		0. 5以上~1. 0未満	※150~250	※130
	注入材料 [4. 2. 2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)			
	検査(コア抜き) ※行わない [4. 3. 4] ・行う(抜き取り部の補修方法:)			
○Uカットシール材充てん工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5]				
充てん材料	品質・規格等	備 考		
○シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない・行う		
・可とう性エポキシ樹脂				

⑤ 塗装
改修
工事

⑥ その他

- ① 外部施工箇所
- ② 下地調整
- 3 合成樹脂調合ペイント塗り
- ④ 耐候性塗料塗り
- 5 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
- 6 木材保護塗料塗り(WP)

- ① 外壁PC板
- ② 既存郵便受け
- ③ 破風板、鼻隠し
- ④ BS、CSアンテナ移動
- ⑤ 冷暖房室外機、配管
- ⑥ 電気設備配管等
- ⑦ 機械設備配管類
- ⑨ 外部建具清掃
- ⑩ 既存取合シーリング
- ⑪ 入居者について
- ⑫ 屋根瓦調査について

・シール工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 6] ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂			
② 欠損部改修工法 ◎充てん工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7] ○エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル			
外部に面する 破風、鼻隠し、広小舞、見切り縁、軒天井、換気扇フード、バンドキャップ、鉄製庇、木製庇、換気ガラリ(床下換気は除く)、メーター取付木板、露出電気配管等図示の一切とする。 高圧水洗工法(10~15pa又は水洗い工法)とする。 [7. 2. 2~7] [表7. 2. 1~7]			
下地面の種類	下地調整の種類	備 考	
木部	・RA種 ※RB種	破風板、鼻隠し、広小舞、見切り縁、電気板地	
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	LPGボンベ固定金具、電線管、庇地	
亜鉛めっき面	・RA種 ※RB種		
亜鉛めっき面(鋼製建具)	※RB種・RC種		
モルタル、プラスチック面	・RA種 ※RB種		
コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※RB種	(2-U E)、(2-A S E)及び(2-F U E)は除く	
せつこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	軒天	
既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7. 2. 4~6] ※行わない・行う(補修範囲及び補修方法は図示) 新規鉄面の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7. 4. 4] [表7. 4. 2] [7. 8. 2~4] [表7. 8. 1~3]			
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種類	備 考
鉄鋼面	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ※B種 ・C種	
亜鉛メッキ鋼面	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ※B種 ・C種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A-1種・B-1種・C-1種 ※A-2種・B-2種・C-2種	・A-1種※B-1種・C-1種 ・A-2種※B-2種・C-2種	
上塗り等級	鉄鋼面 (・1部・2部・3部) 亜鉛メッキ鋼面 (・1部・2部・3部)		
新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7. 11. 2] [表7. 11. 1]			
・木材保護塗料塗り (・A種 ※B種) [7. 15. 2] [表7. 15. 1] 施工箇所 メーター下地板			

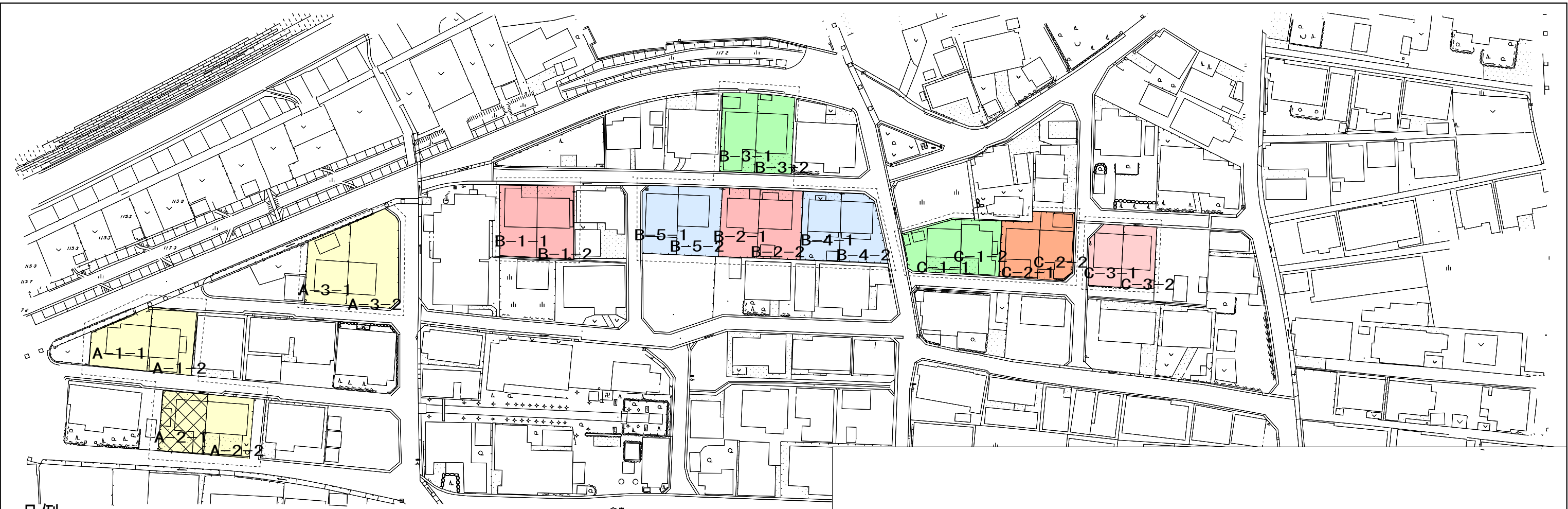
DRAWN	・ ・ ・
DATE	・ ・ ・
CHECK	・ ・ ・
DATE	・ ・ ・

管理建築士
一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749)62-2651

◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN
特記仕様書(4)				

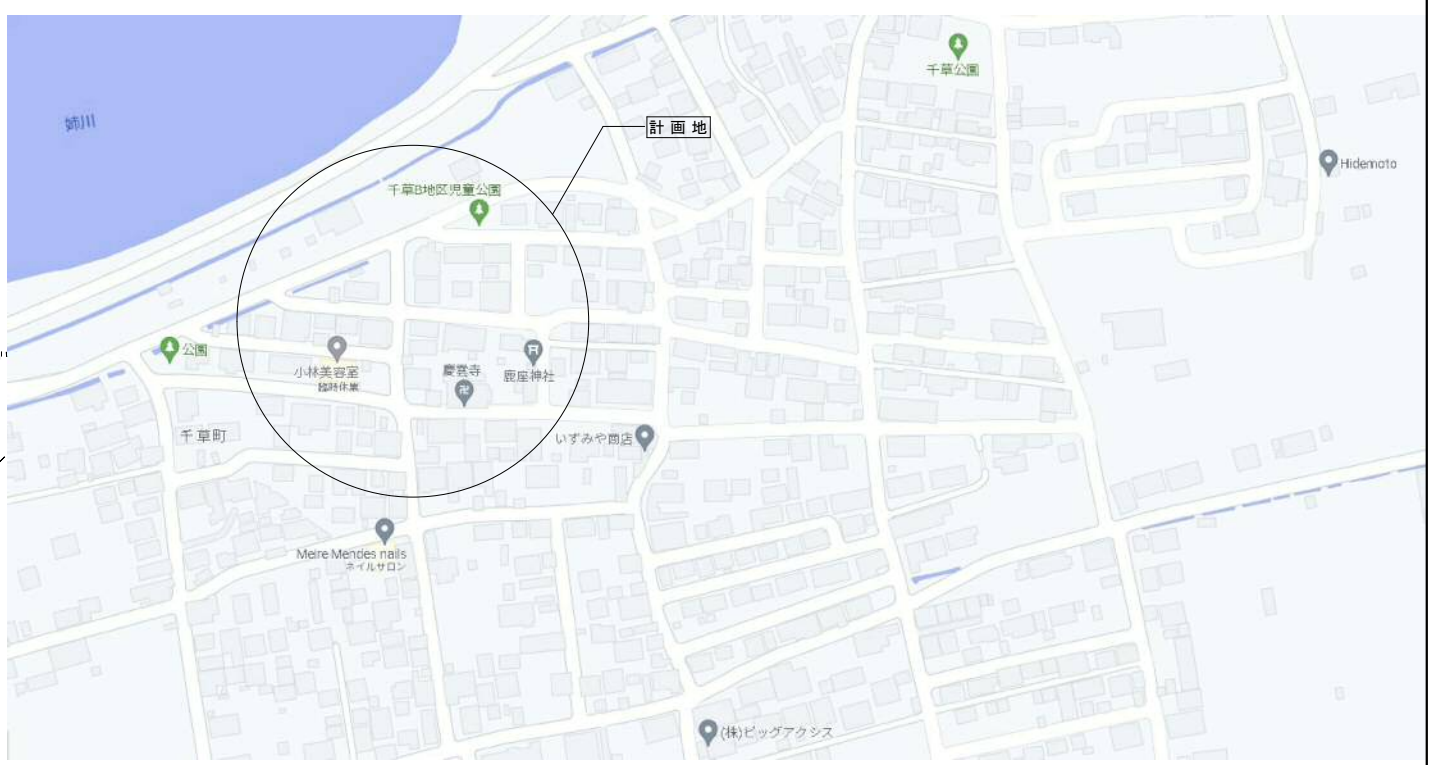
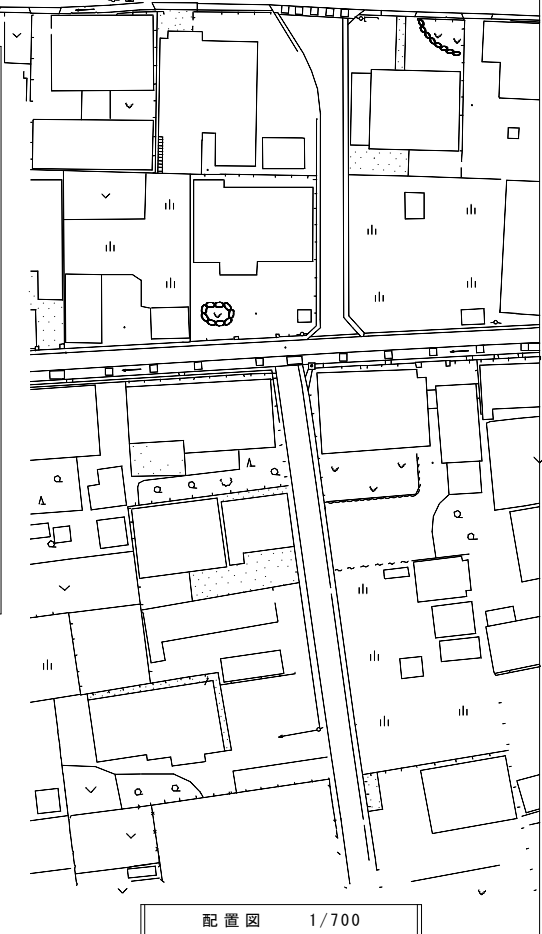


凡例

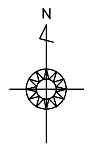
	Ⅲaタイプ (B-1、B-2) 2棟4戸
	Ⅲbタイプ (B-3、C-1) 2棟4戸
	Ⅳaタイプ (B-4、B-5) 2棟4戸
	Ⅳbタイプ (C-3) 1棟2戸
	Ⅳcタイプ (C-2) 1棟2戸
	Ⅳdタイプ (A-1、A-2、A-3) 3棟6戸
	A-2-1 現場事務所として利用可能。退去時に現状復旧とする
	第五期工事 11棟22戸

アスベスト調査結果 概要

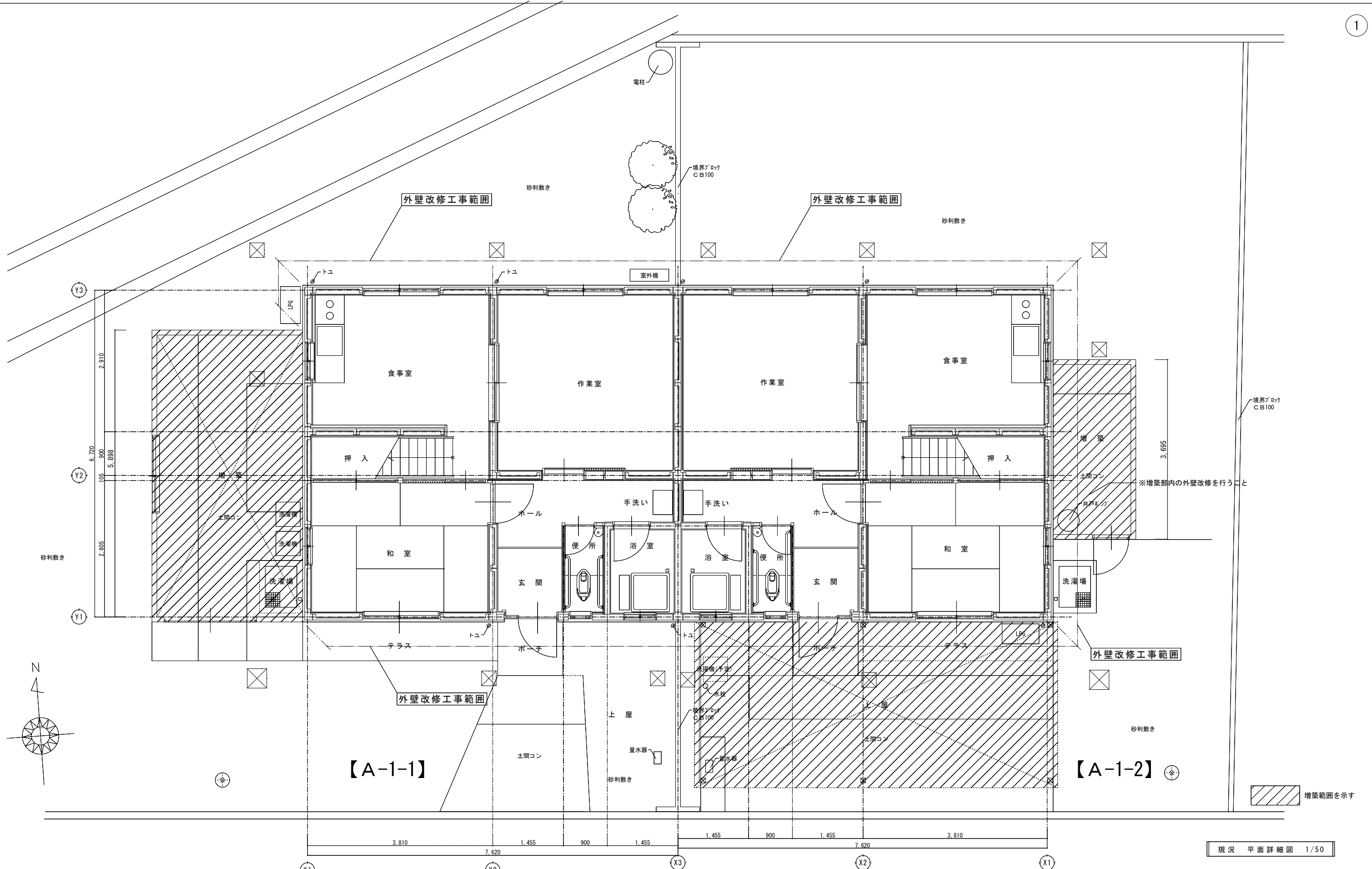
・S54年 (竣工)	B-1、B-2、C-1	※外壁吹付含有なし
・S55年 (竣工)	B-3	※外壁吹付含有なし
・S56年 (竣工)	B-4、C-2	※外壁吹付含有なし
・S57年 (竣工)	A-1、A-2	※外壁吹付含有なし
・S58年 (竣工)	B-5、C-3	※外壁吹付含有なし
・H04年 (竣工)	A-3	※外壁吹付含有なし



付近見取図 1/2500



DRAWN	DATE	CHECK	DATE	管理建築士 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (ホ) 152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749) 62-2651	◆TITLE◆ 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)	◆SHEET TITLE◆ 配置図	◆SCALE◆ 1/700	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-5 41枚ノ内 ◆SHEET No◆
							付近見取図	1/2500				



現況 平面詳細図 1/50

DRAWN	-
DATE	-
CHECK	-
DATE	-

管理建築士
 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (カ) 152号

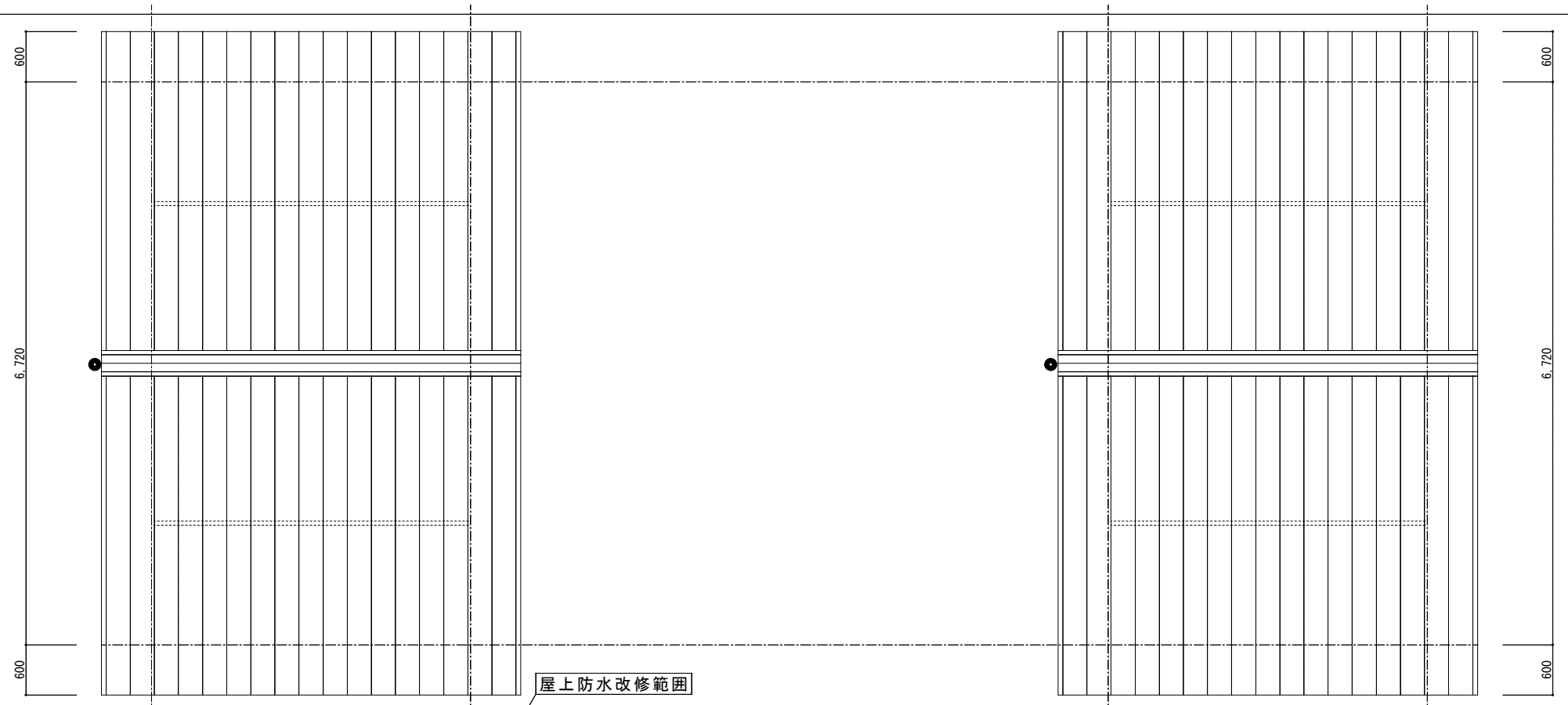
株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

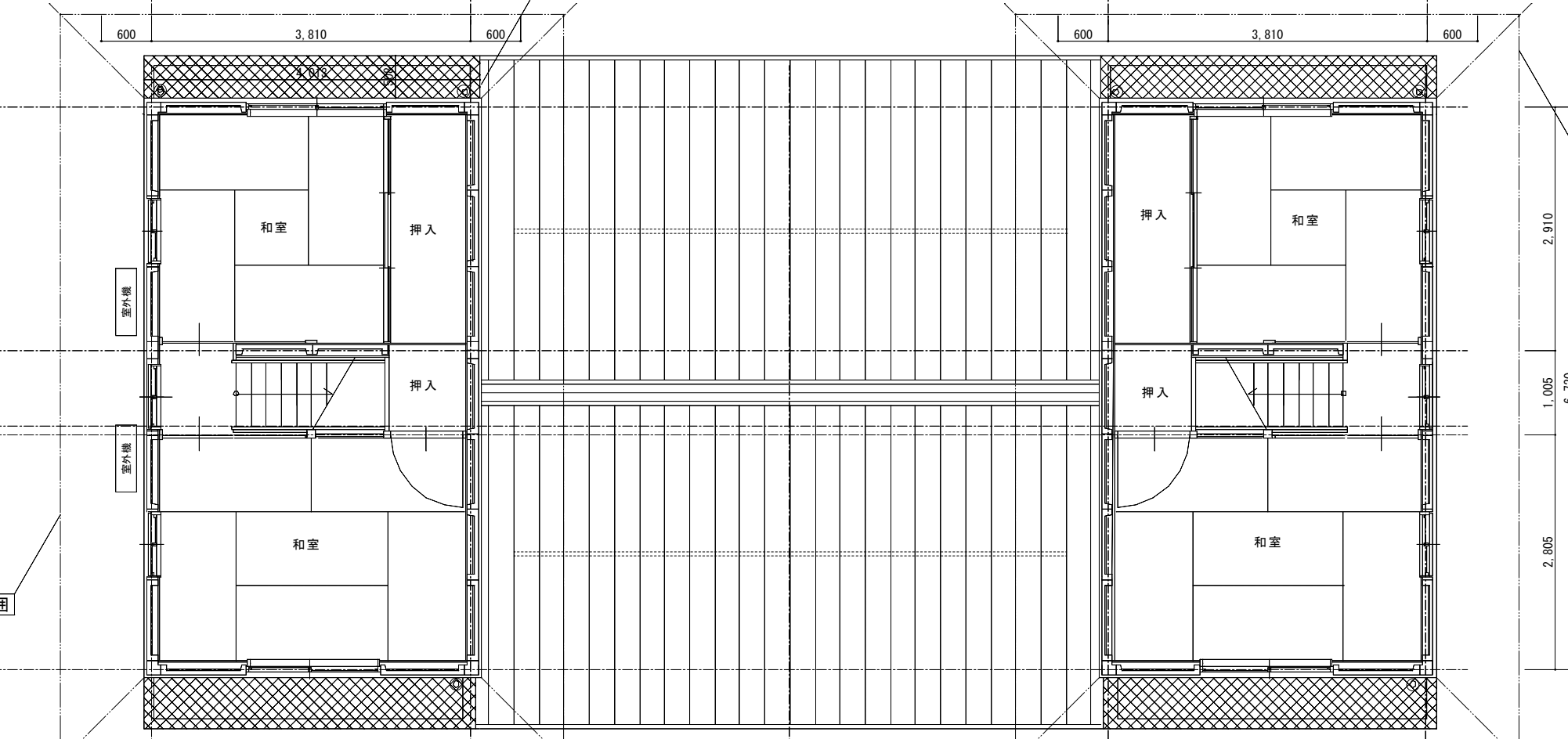
◆SHEET TITLE◆
 1階平面詳細図
 A-1-1, A-1-2

◆SCALE◆	1/50
MANAGER	
CHECKED	
DRAWN	

A-6
 41枚ノ内
 ◆SHEET No◆



現況 屋根伏図 1/50



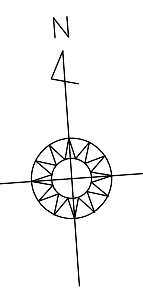
外壁改修工事範囲

- 雪止め金具 + 銅番線留め
- 既存TVアンテナ
- ◎ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設
- ▨ 塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

現況 平面詳細図・屋根伏図 1/50

【A-1-1】

【A-1-2】



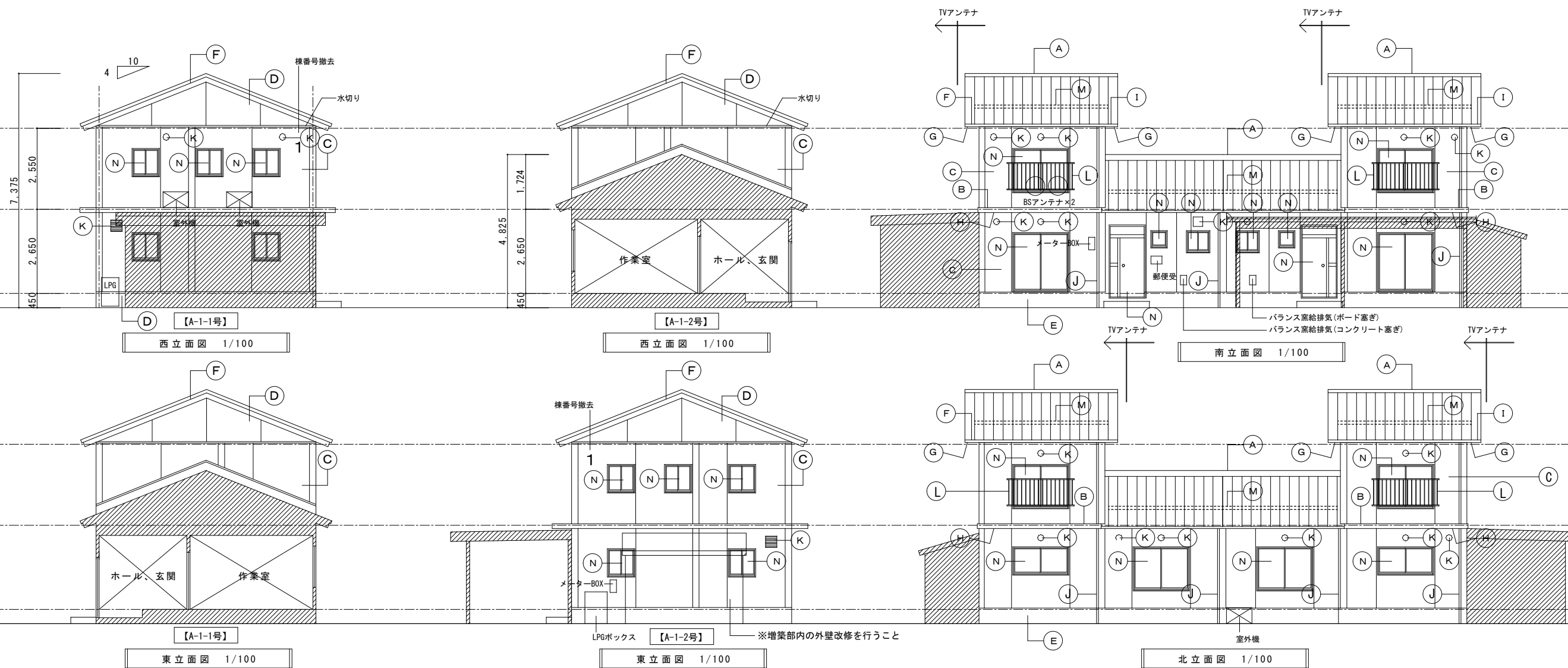
DRAWN	..	
DATE	..	
CHECK	..	
DATE	..	

管理建築士
一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (办) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

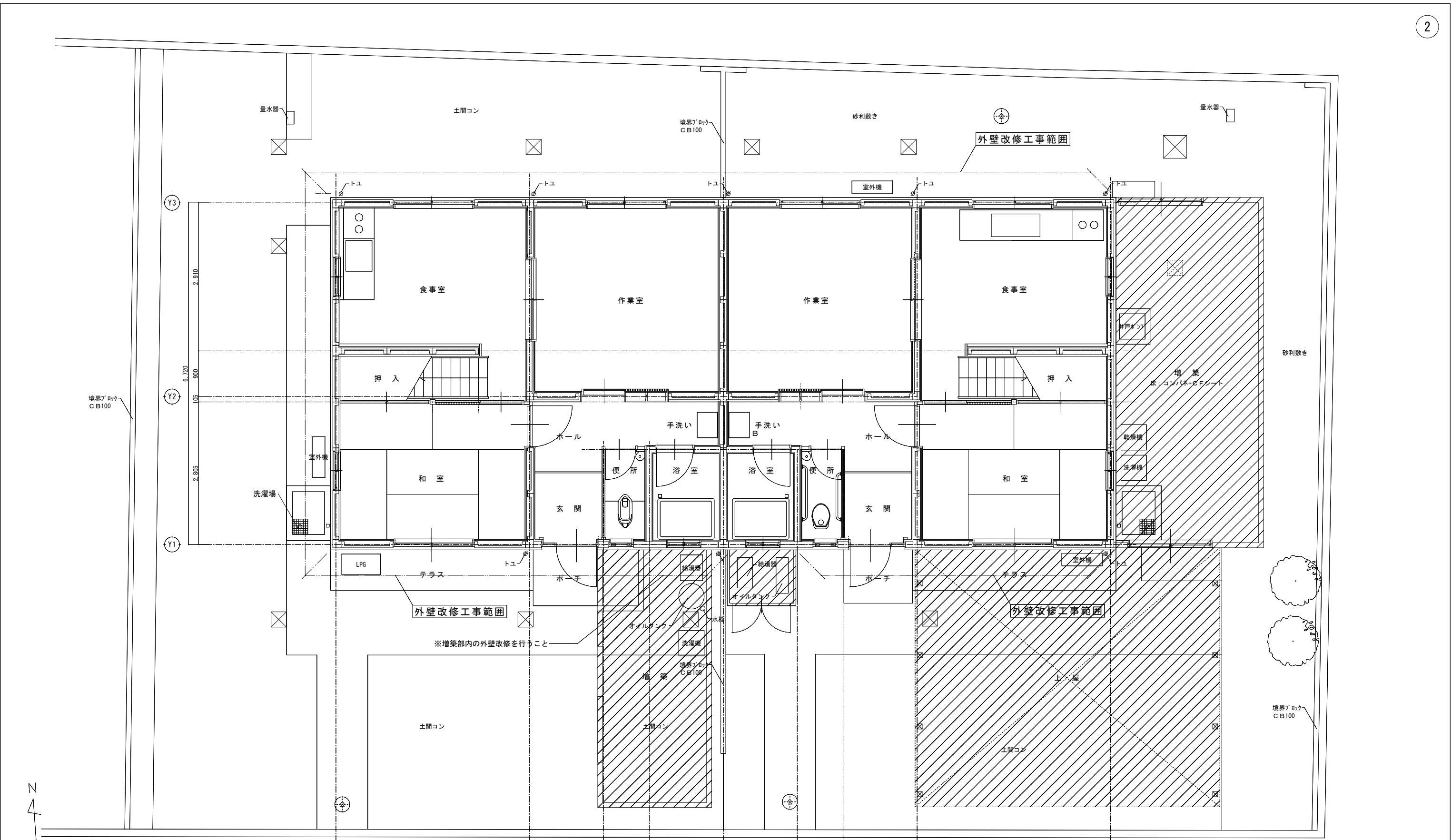
◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆ 2階平面詳細図 A-1-1, A-1-2	◆SCALE◆ 1/50	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-7 41枚ノ内 ◆SHEET No◆
--	-----------------	---------	---------	-------	----------------------------



- 特記事項**
1. 複層塗材Eはエスケー化研製のレナラック又は同等以上とする。
 2. PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
 3. 既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
 4. バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設
バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
 5. 軒樋・壁樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
 6. 外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
 7. 空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
 8. 施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
 9. 既設ラスモルタル + リシン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
 10. 外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
 11. 棟番号は撤去を行うこと。
 12. 換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研製のクリーンマイルド同等以上とする。
 13. 既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
 14. 工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
 15. ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
- 斜線部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(B)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(C)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り:カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(D)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り:カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(F)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り棧・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(G)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、EP塗り替え
(H)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(I)	樋	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共) 集水器 撤去処分	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(J)	樋	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(K)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラー・スリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(L)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(M)	雪止め金具	鉄部 鋼索線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(N)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



【A-2-1号】

【A-2-2号】

増築範囲を示す

現況 平面詳細図 1/50

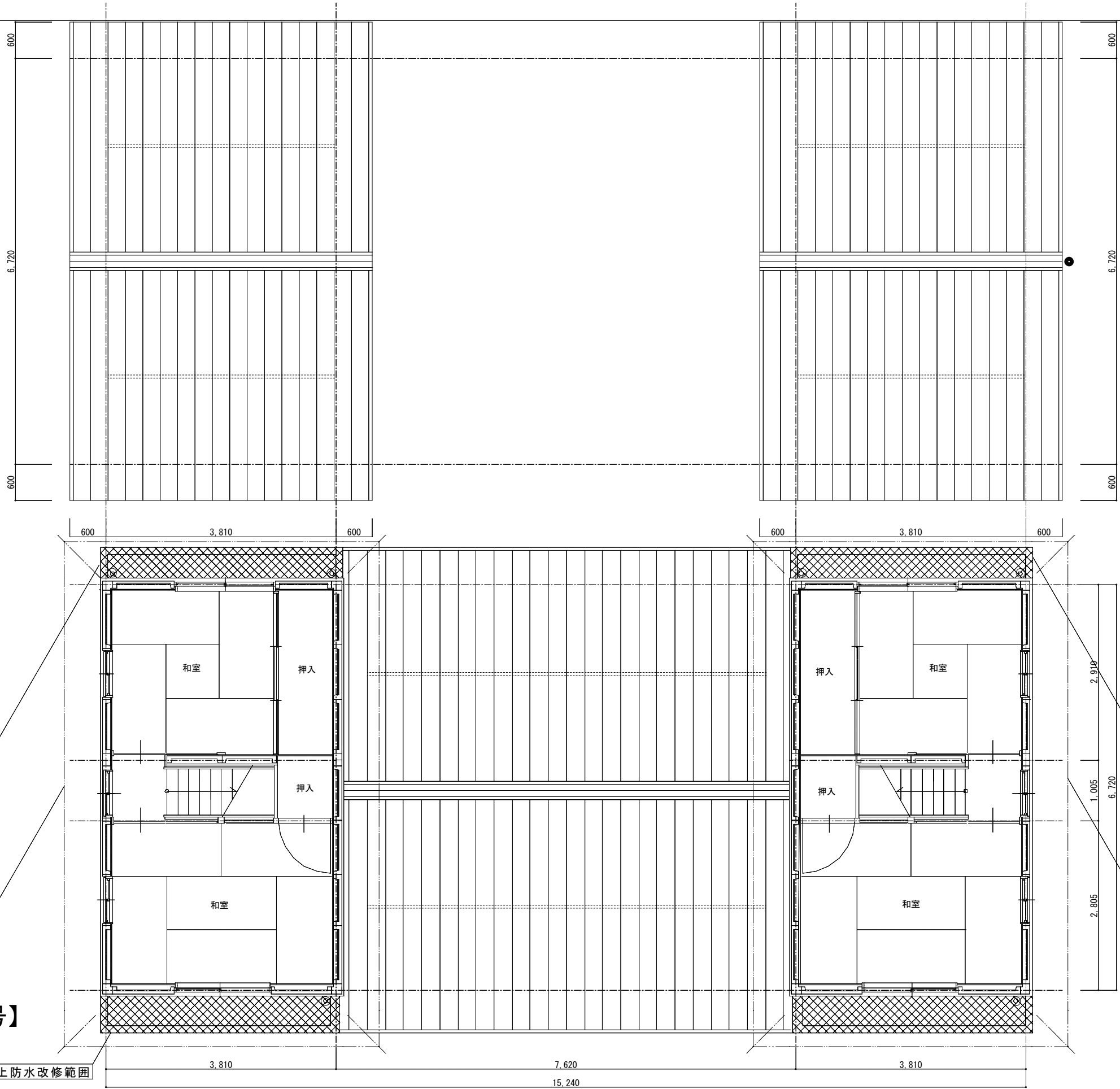
DRAWN	-
DATE	-
CHECK	-
DATE	-

管理建築士
 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (カ) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-9
1階平面詳細図	1/50				41枚ノ内
A-2-1, A-2-2					◆SHEET No◆



現況 屋根伏図 1/50

- 雪止め金具 + 銅番線留め
- 既存TVアンテナ
- ◎ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設
- ▨ 塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

屋上防水改修範囲

外壁改修工事範囲

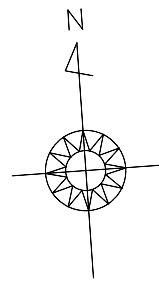
屋上防水改修範囲

外壁改修工事範囲

【A-2-1号】

【A-2-2号】

現況 平面詳細図・屋根伏図 1/50



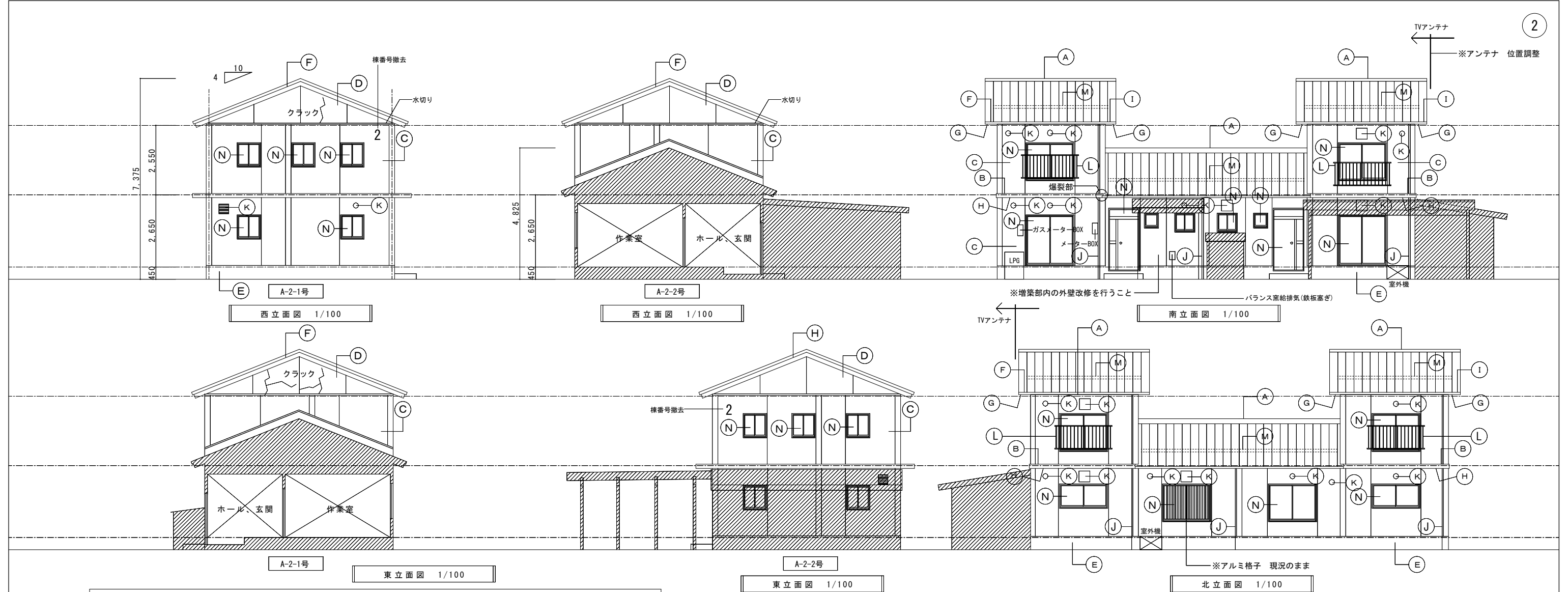
DRAWN
DATE
CHECK
DATE

管理建築士
一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (办) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

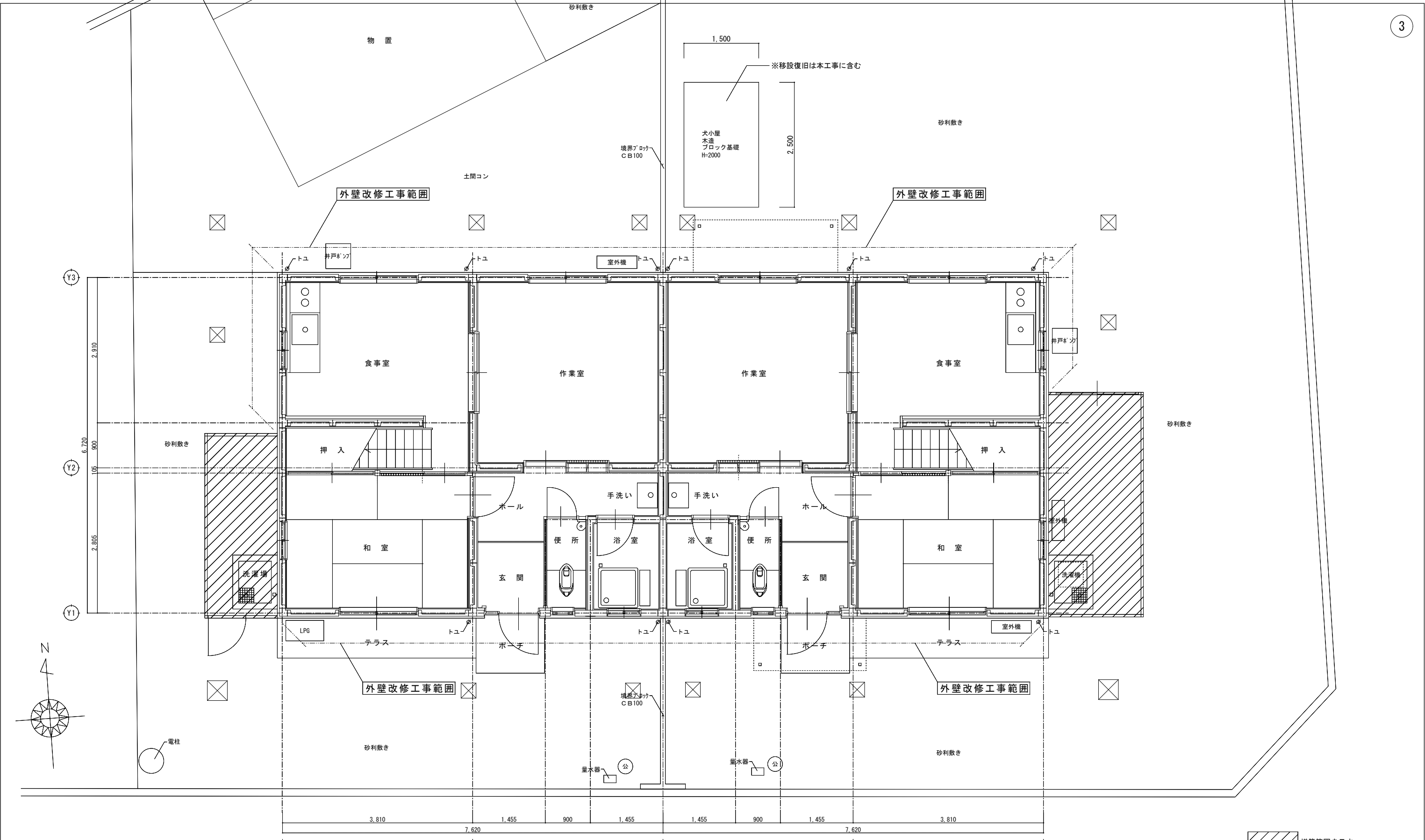
◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-10
2階平面詳細図	1/50				41枚ノ内
A-2-1, A-2-2					◆SHEET No◆



特記事項	
1.	複層塗材Eはエスケー化研練のレナラック又は同等以上とする。
2.	PCジョイント部及び水切り廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3.	既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4.	バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設 バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5.	軒樋・縦樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6.	外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7.	空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8.	施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9.	既設ラスモルタル + リン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10.	外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11.	棟番号は撤去を行うこと。
12.	換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研練のクリーンマイルド同等以上とする。
13.	既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14.	工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15.	ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す	

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(B)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(C)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(D)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(F)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り桟・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(G)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(I)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共) 集水器 撤去処分	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(J)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(K)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラー・スリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(L)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(M)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(N)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



【A-3-1号】

【A-3-2号】

増築範囲を示す

現況 平面詳細図 1/50

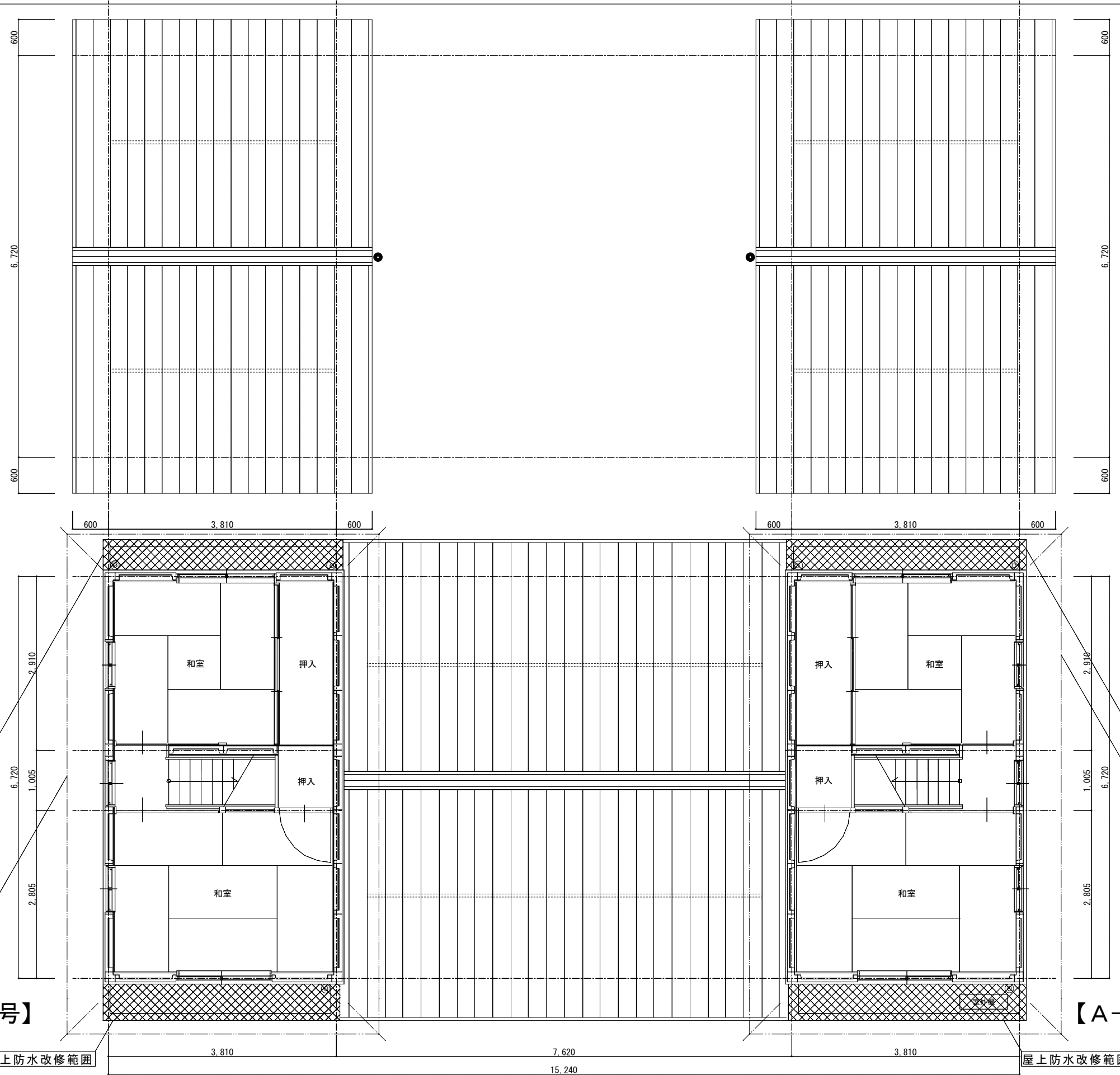
DRAWN	...
DATE	...
CHECK	...
DATE	...

管理建築士
 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (カ) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-12
1階平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100				41枚ノ内
A-3-1, A-3-2					◆SHEET No◆



現況 屋根伏図 1/50

屋上防水改修範囲

外壁改修工事範囲

- 雪止め金具 + 銅番線留め
- 既存TVアンテナ
- ◎ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設
- ▨ 塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

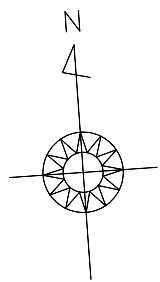
屋上防水改修範囲

外壁改修工事範囲

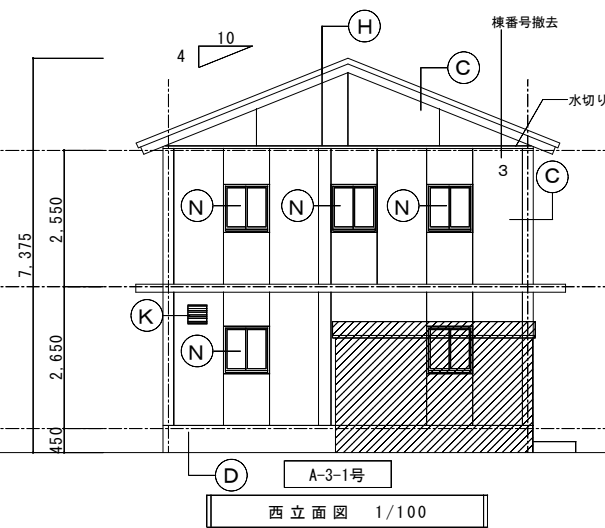
【A-3-1号】

【A-3-2号】

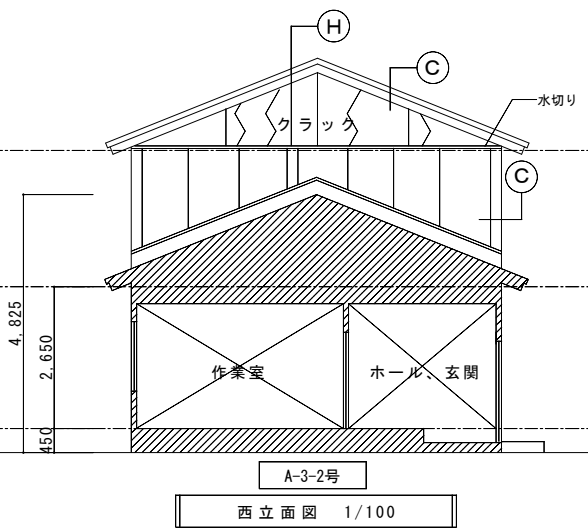
現況 平面詳細図・屋根伏図 1/50



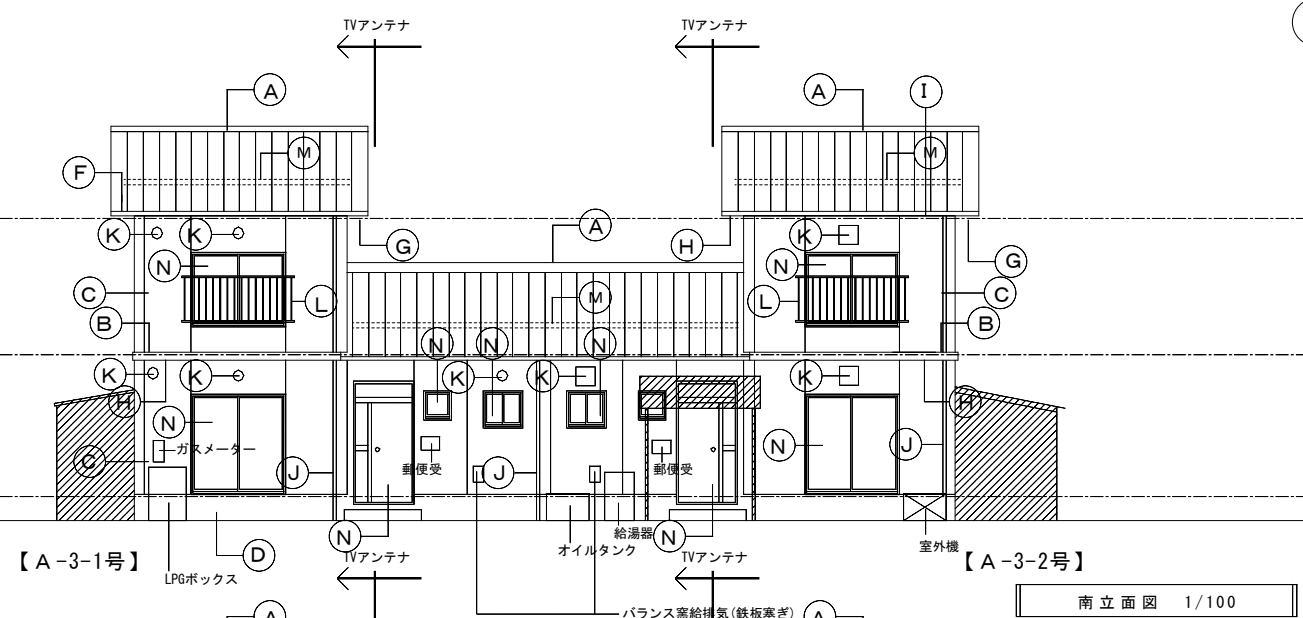
DRAWN	DATE	CHECK	DATE	管理建築士 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (办) 152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749) 62-2651	◆TITLE◆ 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)	◆SHEET TITLE◆ 2階平面詳細図・屋根伏図 A-3-1, A-3-2	◆SCALE◆ A1:1/50 A3:1/100	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-13 41枚ノ内 ◆SHEET No◆
-------	------	-------	------	--	---	----------------------------------	---	-----------------------------	---------	---------	-------	-----------------------------



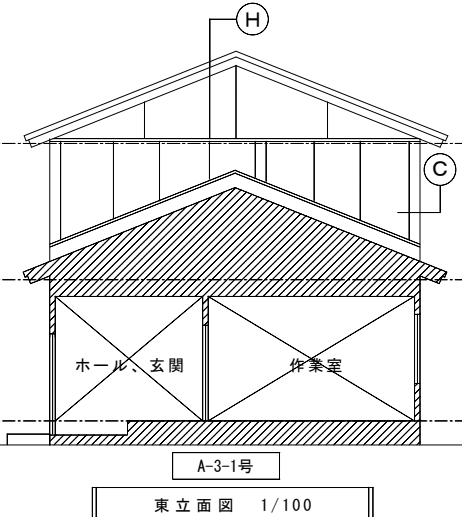
A-3-1号
西立面図 1/100



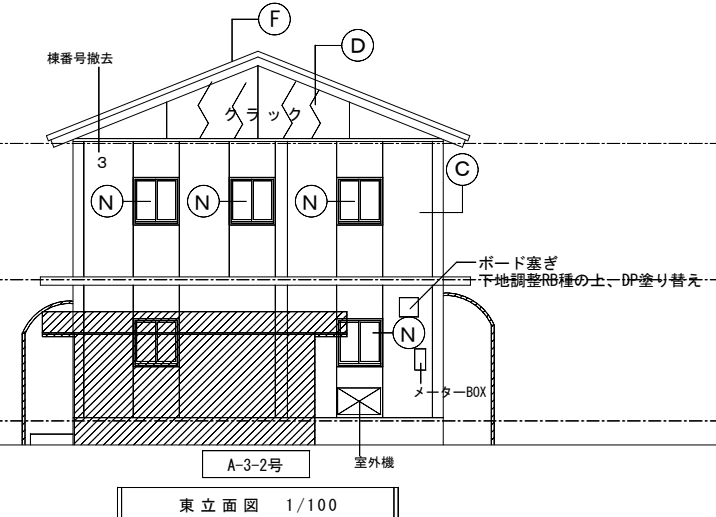
A-3-2号
西立面図 1/100



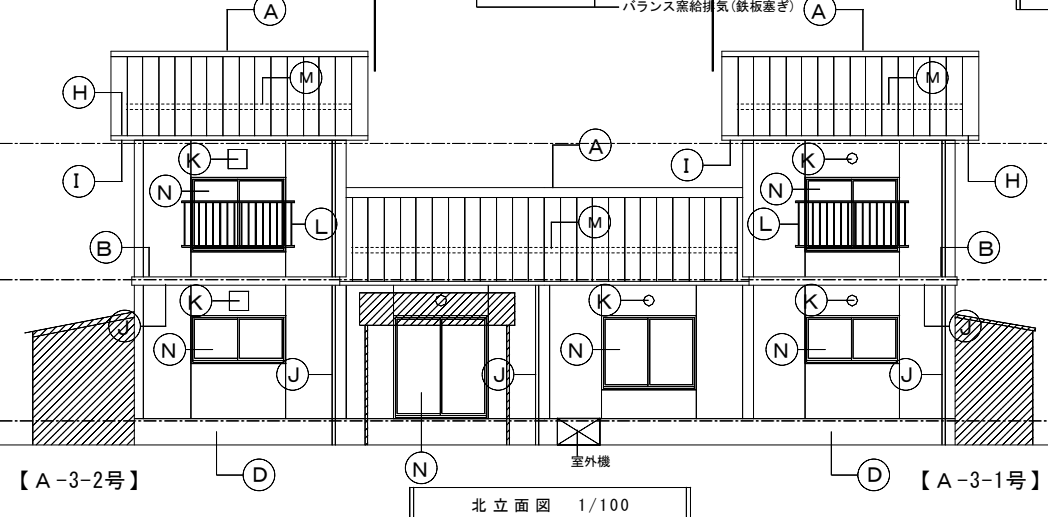
南立面図 1/100



A-3-1号
東立面図 1/100



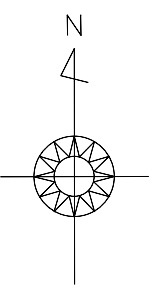
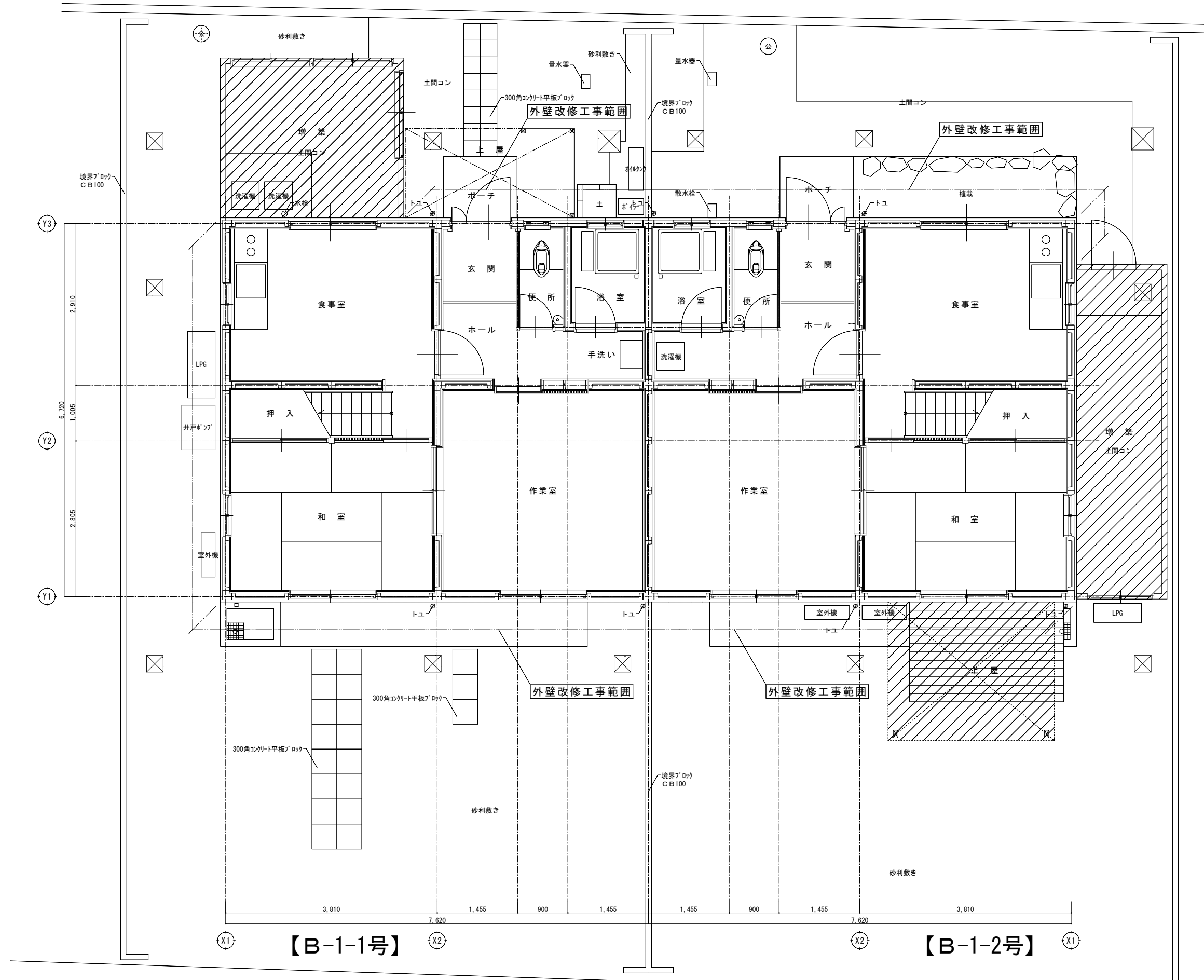
A-3-2号
東立面図 1/100

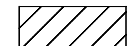


北立面図 1/100

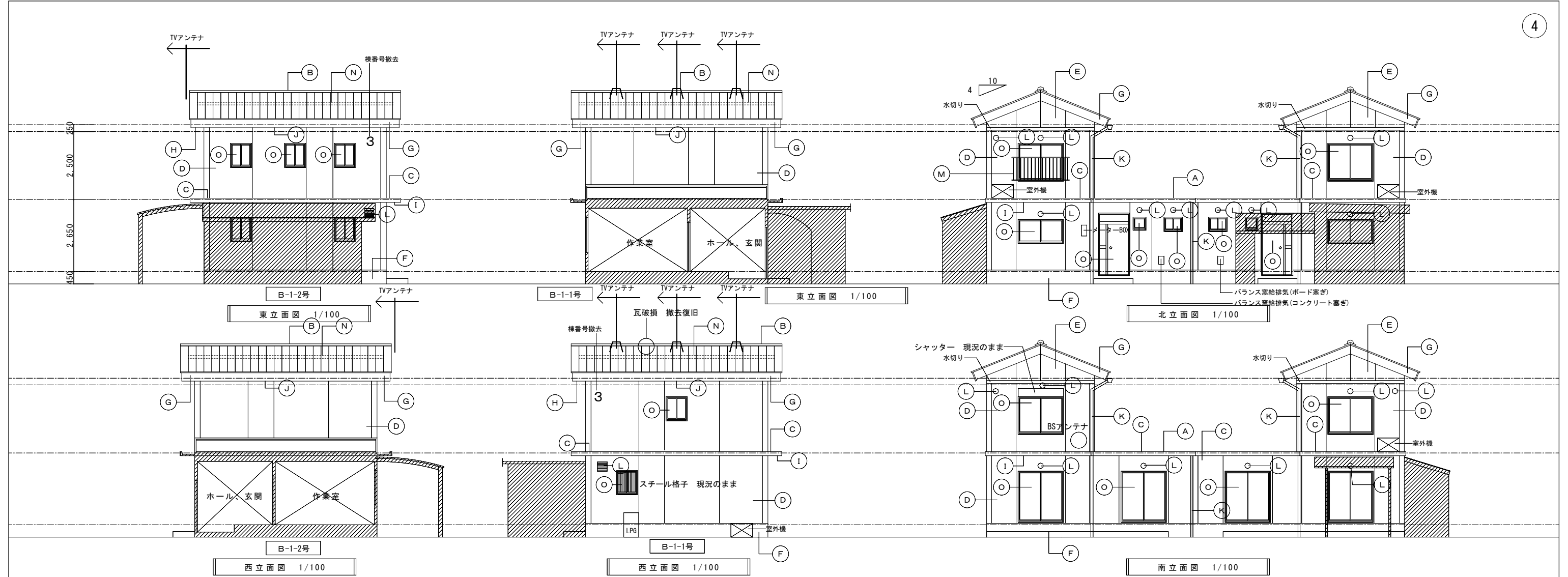
特記事項	
1.	複層塗材Eはエスケー化研製のレナラック又は同等以上とする。
2.	PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3.	既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4.	バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設 バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5.	軒樋・縦樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付け樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6.	外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7.	空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8.	施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9.	既設ラスモルタル + リシン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10.	外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11.	棟番号は撤去を行うこと。
12.	換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研製のクリーンマイルド同等以上とする。
13.	既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14.	工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15.	ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す	

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(B)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(C)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(D)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(F)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り桟・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(G)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(I)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共) 集水器 撤去処分	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(J)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(K)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラーズリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(L)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(M)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(N)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



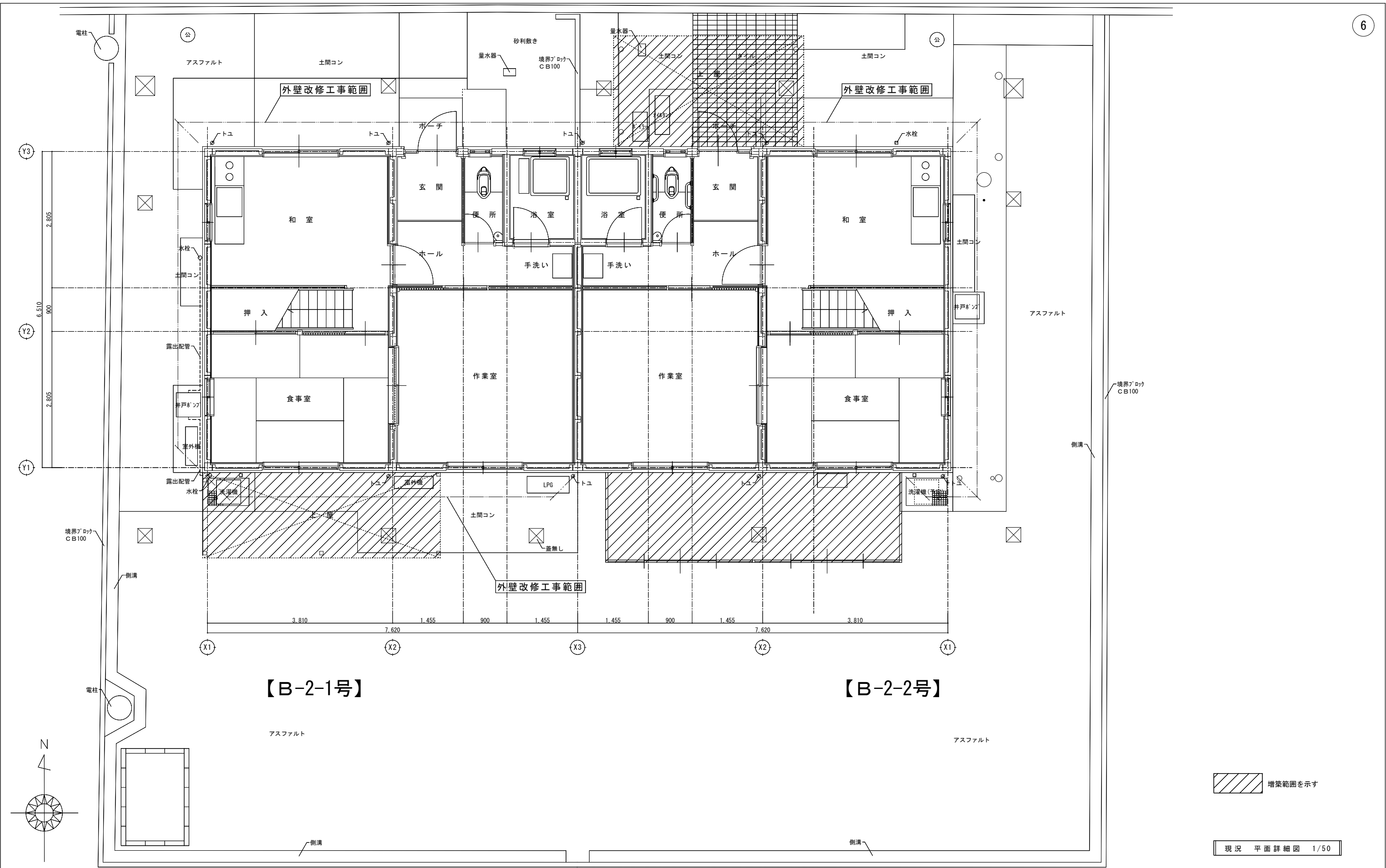
 増築範囲を示す
 現況 平面詳細図 1/50

DRAWN DATE CHECK DATE	管理建築士 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (ホ) 152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749) 62-2651	◆TITLE◆ 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)	◆SHEET TITLE◆ 1階平面詳細図 B-1-1, B-1-2	◆SCALE◆ 1/50	MANAGER CHECKED DRAWN	A-15 41枚ノ内 ◆SHEET No◆
--------------------------------	--	---	----------------------------------	--	-----------------	-----------------------------	-----------------------------



- 特記事項**
1. 複層塗材Eはエスケー化研製のレナラック又は同等以上とする。
 2. PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
 3. 既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
 4. バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設
バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
 5. 軒樋・堅樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
 6. 外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
 7. 空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
 8. 施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
 9. 既設ラスモルタル + リン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
 10. 外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
 11. 棟番号は撤去を行うこと。
 12. 換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研製のクリーンマイルド同等以上とする。
 13. 既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
 14. 工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
 15. ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、WP塗り替えとする。
- 斜線部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	平場 ゴムアスファルト防水の上、保護コンクリート 立面 ゴムアスファルト防水	平場 既設保護コンクリート面 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-1) 新設 立面 ゴムアスファルト防水不良部切開・焼付処理(15%)・水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(B)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(C)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(D)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(F)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(G)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り桟・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(I)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(J)	樋	軒樋 半丸 105 受金物市販品	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(K)	樋	堅樋 φ60 掴み金物市販品(1階その他)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(L)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラースリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(M)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(N)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(O)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



【B-2-1号】

【B-2-2号】

増築範囲を示す

現況 平面詳細図 1/50

DRAWN	...
DATE	...
CHECK	...
DATE	...

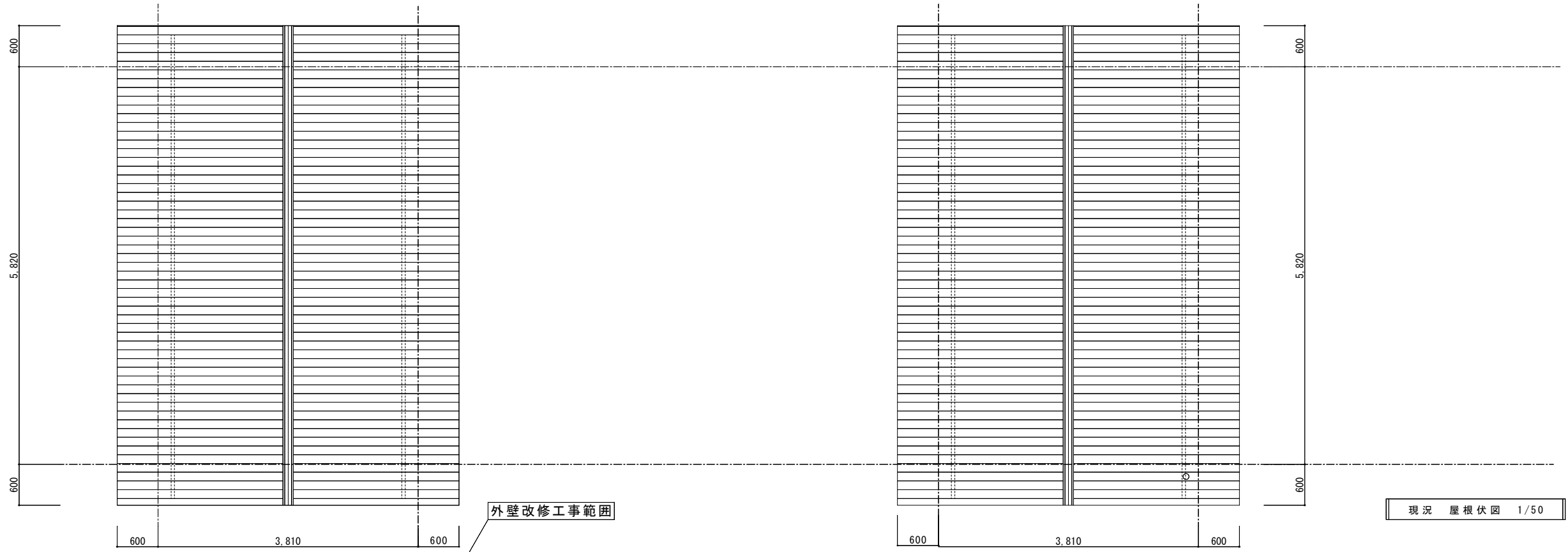
管理建築士
 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (ホ) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

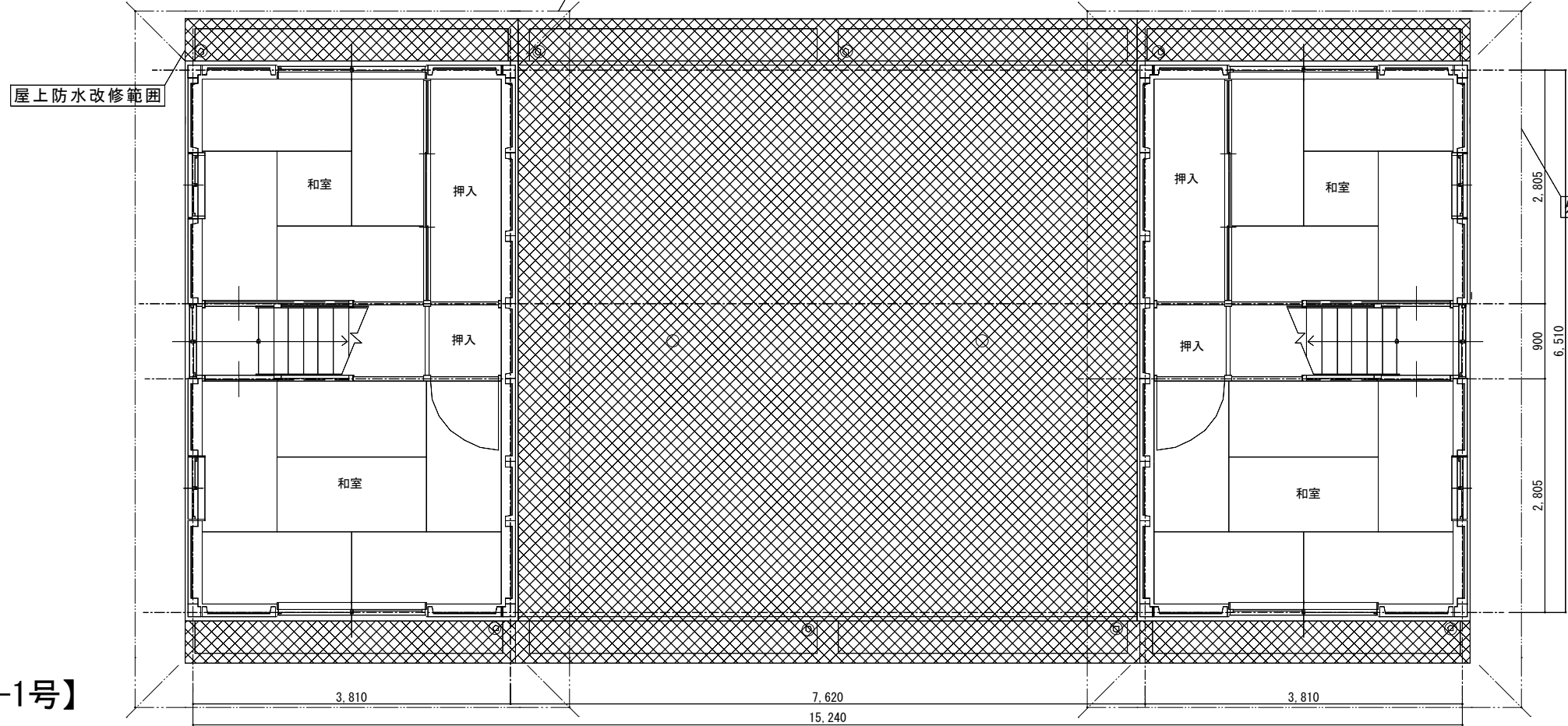
◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN
1階平面詳細図	1/50			
B-2-1, B-2-2				

A-18
 41枚ノ内
 ◆SHEET No◆



現況 屋根伏図 1/50

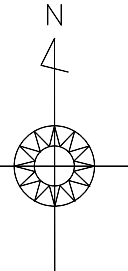


- 雪止め金具 + 銅番線留め
- ⊙ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設
- ステンレス脱気筒 新設(2箇所)
- ⊗ 塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

現況 平面詳細図・屋根伏図 1/50

【B-2-1号】

【B-2-2号】



DRAWN	...
DATE	...
CHECK	...
DATE	...

管理建築士
一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録(办)152号

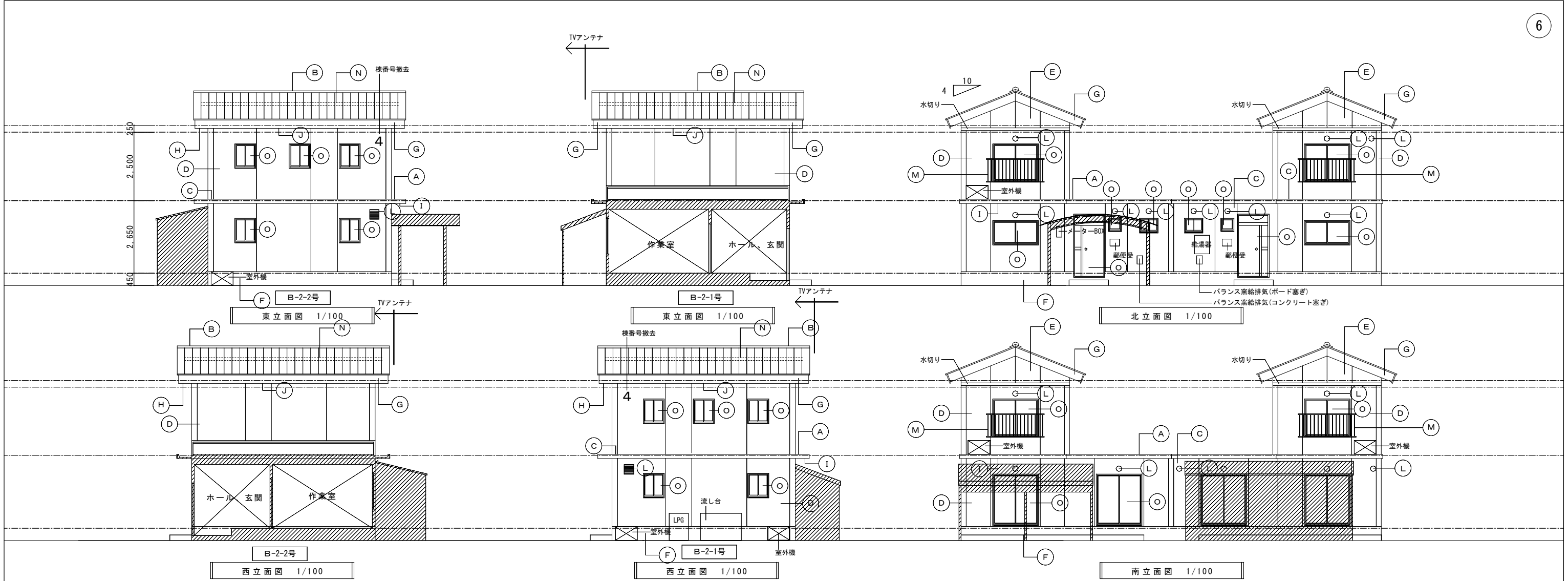
株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆
2階平面詳細図	1/50
B-2-1, B-2-2	

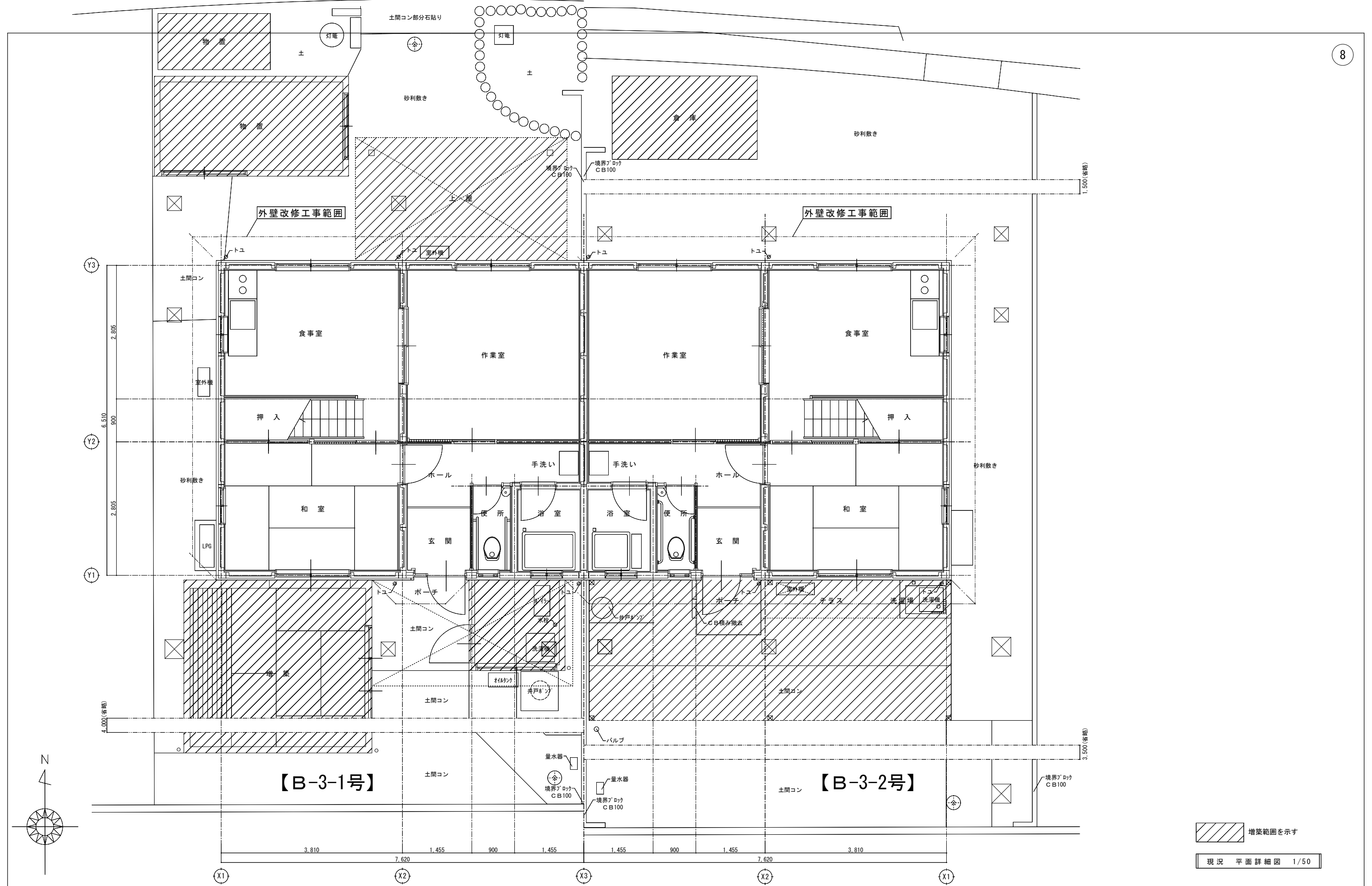
MANAGER	CHECKED	DRAWN

A-19 / 41枚ノ内
◆SHEET No◆



- 特記事項**
1. 複層塗材Eはエスケー化研製のレナラック又は同等以上とする。
 2. PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
 3. 既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法（3m/棟）にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
 4. バランス窯給排気（コンクリート塞ぎ）部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設
バランス窯給排気（ボード・鉄板塞ぎ）部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
 5. 軒樋・竪樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
 6. 外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。（監理者の指示）
 7. 空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
 8. 施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
 9. 既設ラスモルタル + リシン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法（3m/棟）にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
 10. 外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
 11. 棟番号は撤去を行うこと。
 12. 換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研製のクリーンマイルド同等以上とする。
 13. 既設建具はクリーニング（片面）し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
 14. 工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
 15. ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
- 部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所（改修工事対象外）を示す

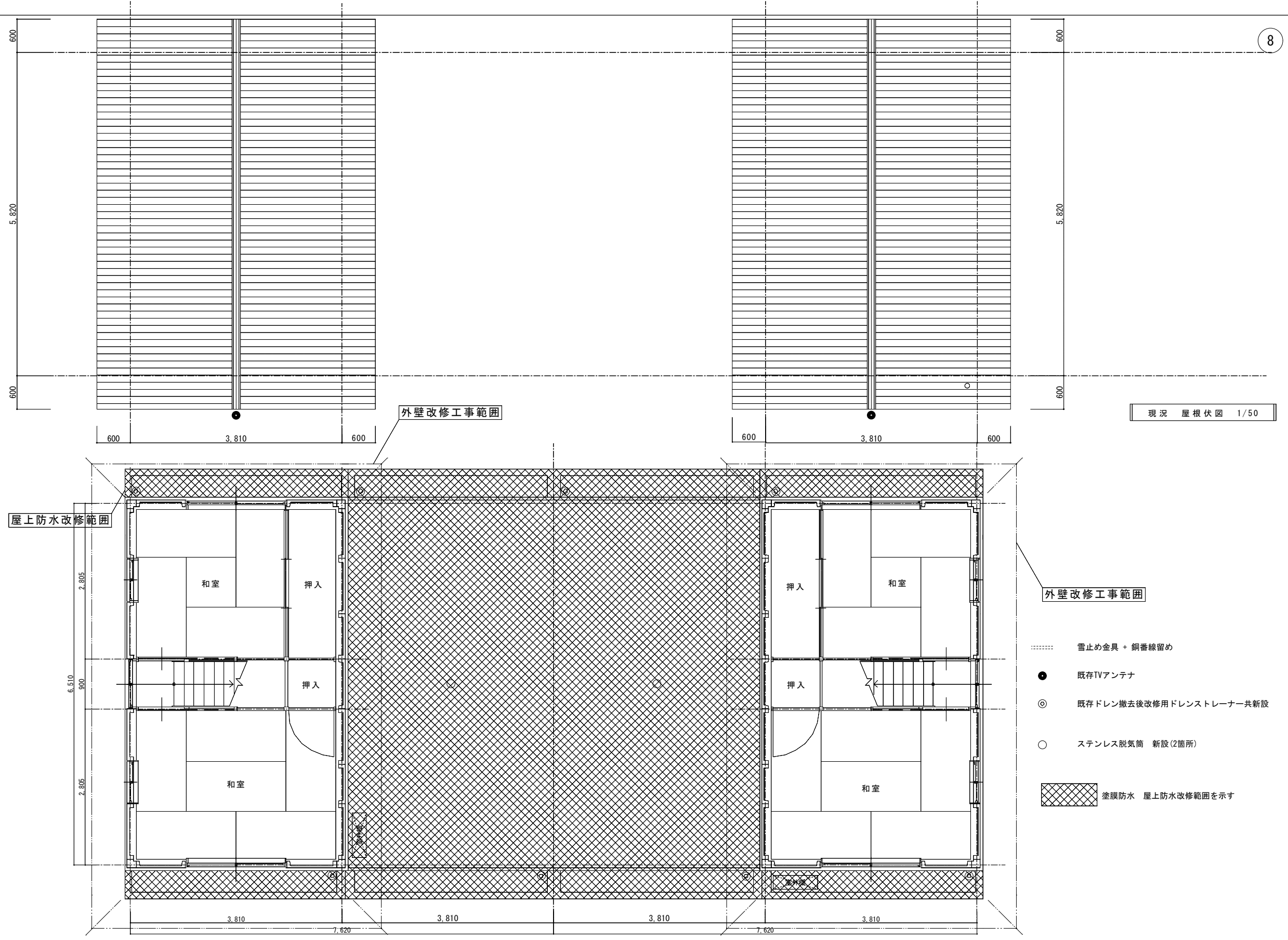
記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	平場 ゴムアスファルト防水 立面 ゴムアスファルト防水	平場 ゴムアスファルト防水不良部切開・焼付処理(15%)・水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-1) 新設 立面 ゴムアスファルト防水不良部切開・焼付処理(15%)・水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設 現状のまま
(B)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現状のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(C)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(D)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り：カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り：カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(F)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(G)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り桟・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(I)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(J)	樋	軒樋 半丸 105 受金物市販品	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(K)	樋	竪樋 φ60 掴み金物市販品(1階その他)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(L)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラー・スリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現状のまま
(M)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(N)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(O)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



増築範囲を示す

現況 平面詳細図 1/50

DRAWN DATE CHECK DATE	管理建築士 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (カ) 152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749) 62-2651	◆TITLE◆ 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)	◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-21
				1階平面詳細図	1/50				41枚ノ内
				B-3-1, B-3-2					◆SHEET No◆



現況 屋根伏図 1/50

外壁改修工事範囲

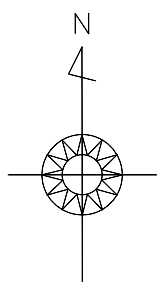
- 雪止め金具 + 銅番線留め
- 既存TVアンテナ
- ◎ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設
- ステンレス脱気筒 新設(2箇所)
- ▨ 塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

屋上防水改修範囲

【B-3-1号】

【B-3-2号】

現況 平面詳細図・屋根伏図 1/50



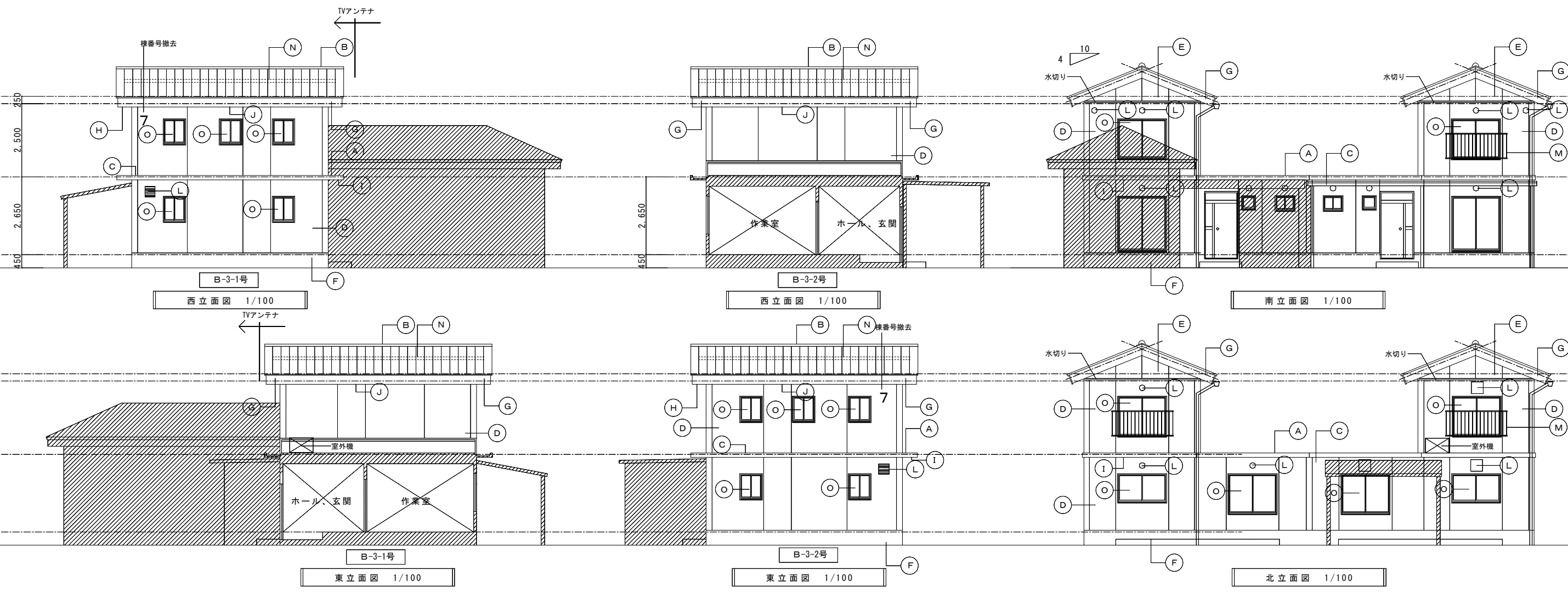
DRAWN	...
DATE	...
CHECK	...
DATE	...

管理建築士
一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録(办)152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)

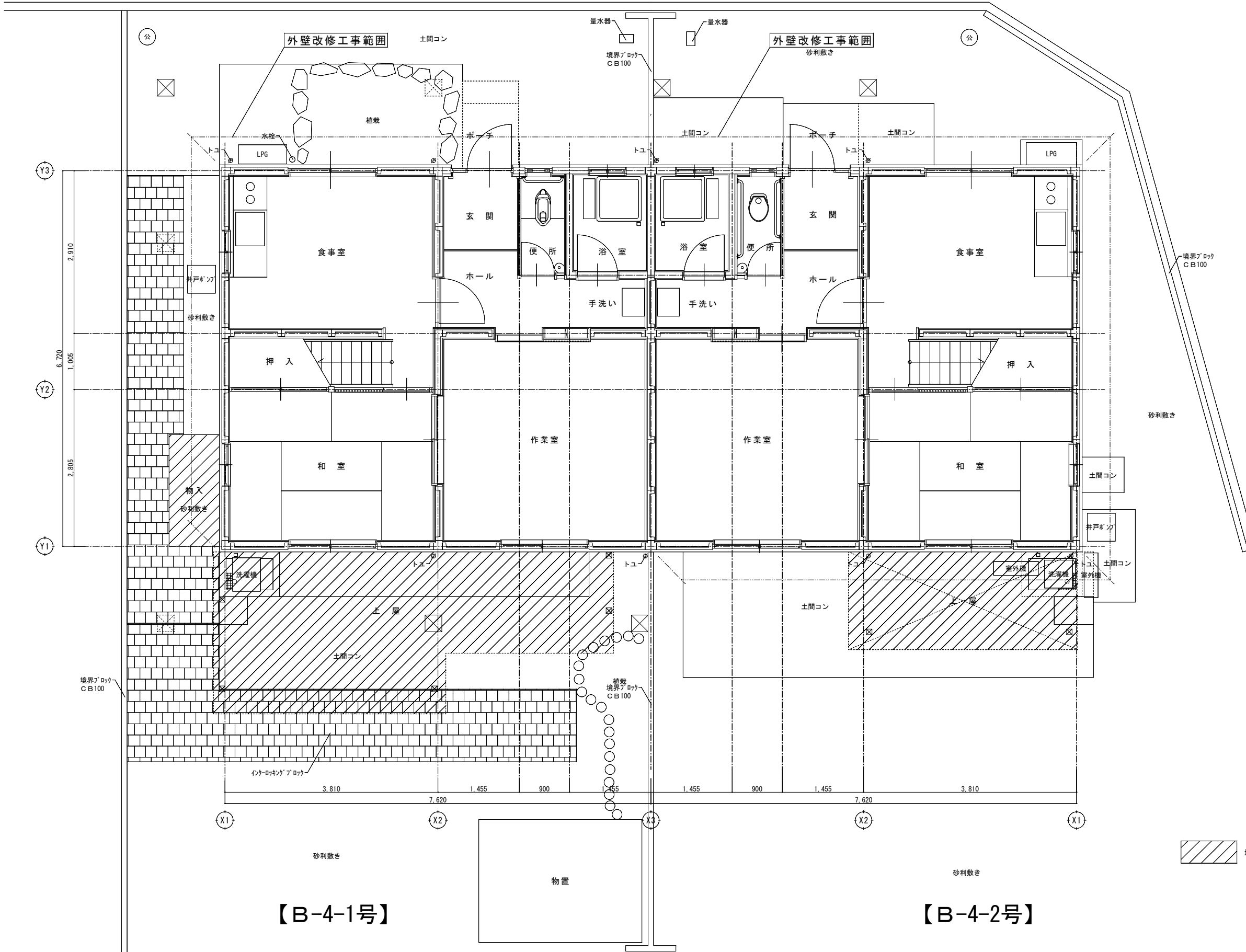
◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-22
2階平面詳細図	1/50				41枚ノ内
B-3-1, B-3-2					◆SHEET No◆



特記事項	
1.	複層塗材Eはエスケー化研練のレナラック又は同等以上とする。
2.	PCジョイント部及び水切り廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3.	既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4.	バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設 バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5.	軒樋・壁樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付け樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6.	外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7.	空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8.	施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9.	既設ラスモルタル + リシン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10.	外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11.	棟番号は撤去を行うこと。
12.	換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研練のクリーンマイルド同等以上とする。
13.	既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14.	工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15.	ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す	

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	平場 ゴムアスファルト防水 立面 ゴムアスファルト防水	平場 ゴムアスファルト防水不良部切開・焼付処理(15%)・水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-1) 新設 立面 ゴムアスファルト防水不良部切開・焼付処理(15%)・水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(B)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(C)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(D)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り:カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り:カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(F)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(G)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り棧・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(I)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(J)	種	軒樋 半丸 105 受金物市販品	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(K)	種	壁樋 φ60 掴み金物市販品(1階その他)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(L)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラースリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(M)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(N)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(O)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)

DRAWN	DATE	CHECK	DATE	管理建築士 一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749)62-2651	◆TITLE◆ 長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)	◆SHEET TITLE◆ 立面図	◆SCALE◆ 1/100	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-23 41枚ノ内 ◆SHEET No◆
							B-3-1, B-3-2					

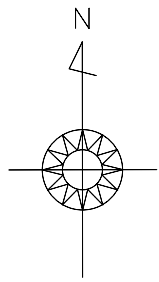


【B-4-1号】

【B-4-2号】

増築範囲を示す

現況 平面詳細図 1/50



DRAWN	-
DATE	-
CHECK	-
DATE	-

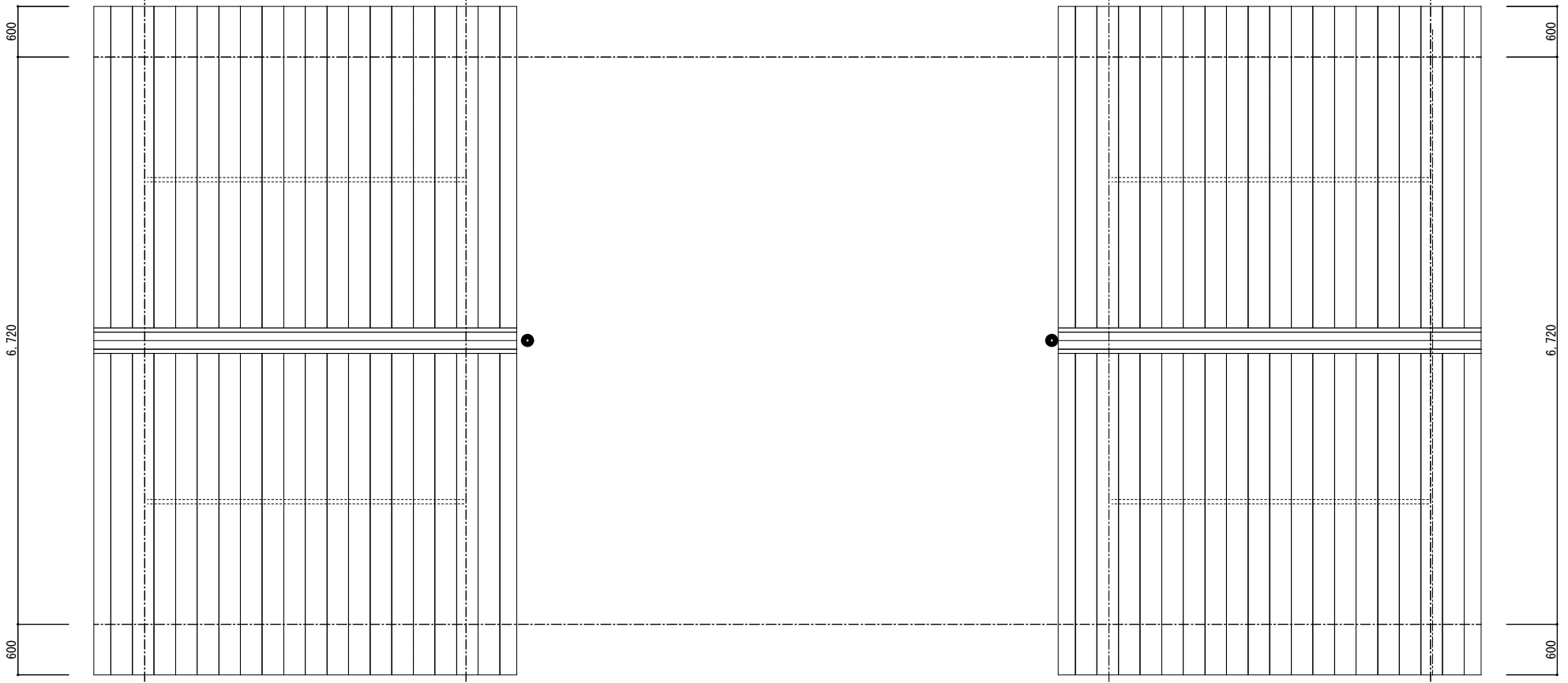
管理建築士
 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (か) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

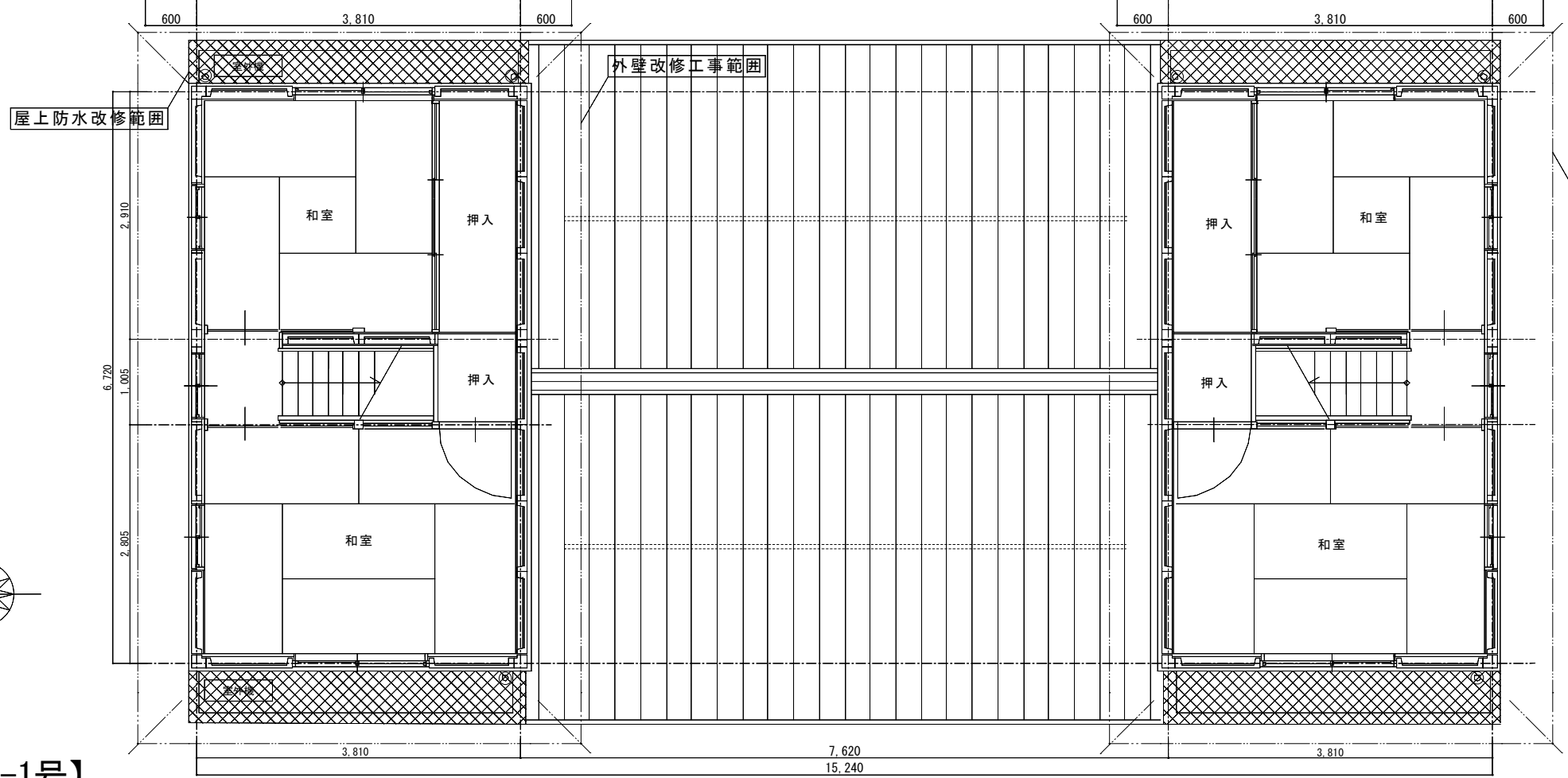
◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN
1階平面詳細図	1/50			
B-4-1, B-4-2				

A-24
 41枚ノ内
 ◆SHEET No◆



現況 屋根伏図 1/50



外壁改修工事範囲

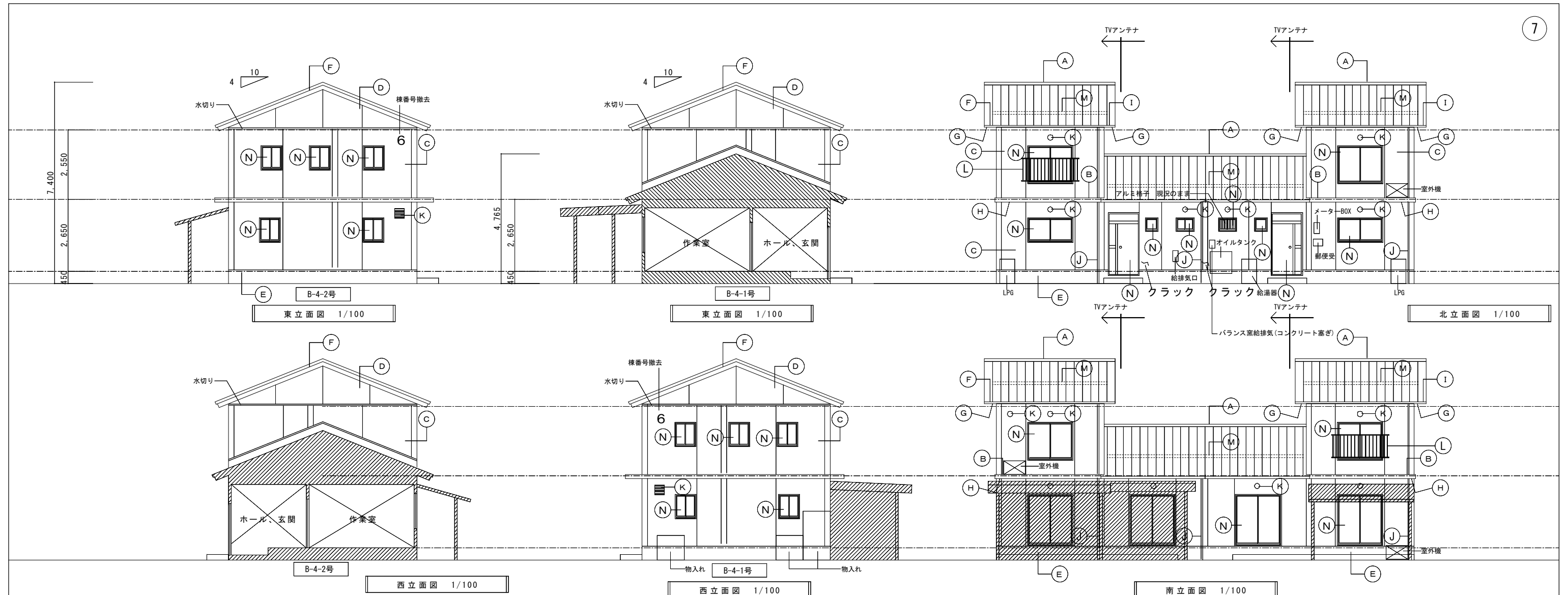
- 雪止め金具 + 銅番線留め
- 既存TVアンテナ
- ◎ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設
- ▨ 塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

現況 平面詳細図・屋根伏図 1/50

【B-4-1号】

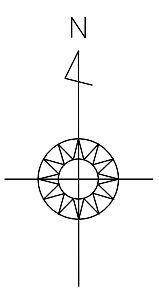
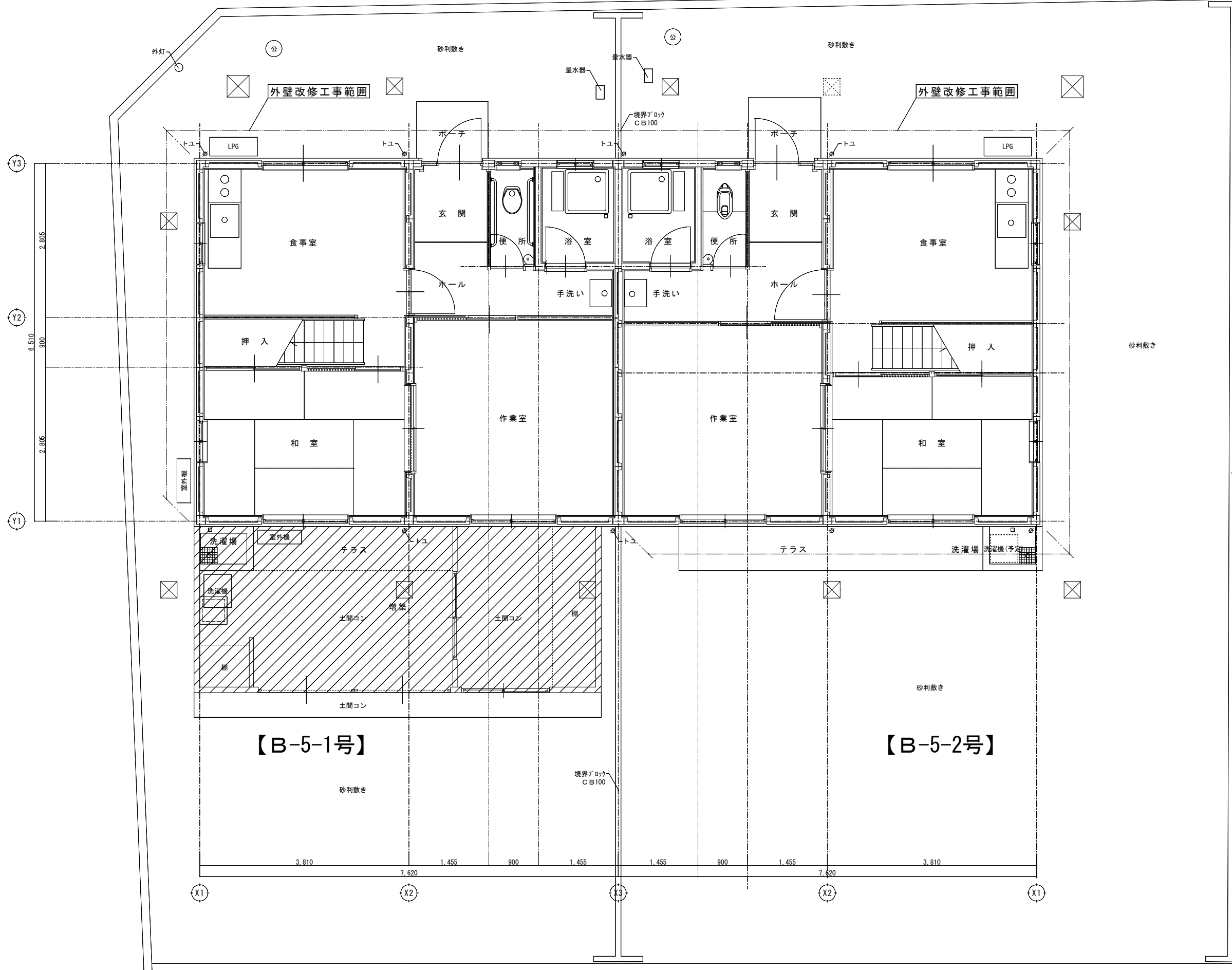
【B-4-2号】

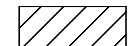
DRAWN	管理建築士	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749) 62-2651	◆TITLE◆	◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-25
DATE	一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子			◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆				41枚ノ内
CHECK	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (ホ) 152号			◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆				
DATE				◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆				



特記事項	
1.	複層塗材Eはエスケー化研製のレナラック又は同等以上とする。
2.	P Cジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3.	既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、P C板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのP Cとモルタル塗取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4.	バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設 バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5.	軒樋・壁樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6.	外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7.	空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8.	施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9.	既設ラスモルタル + リシン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10.	外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11.	棟番号は撤去を行うこと。
12.	換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研製のクリーンマイルド同等以上とする。
13.	既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14.	工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15.	ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す	

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(B)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(C)	外壁	P C板下地 吹付タイル 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(D)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(F)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り機・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(G)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	P C板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(I)	樋	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共) 集水器 撤去処分	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(J)	樋	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(K)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラー・スリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(L)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(M)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(N)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



 増築範囲を示す
 現況 平面詳細図 1/50

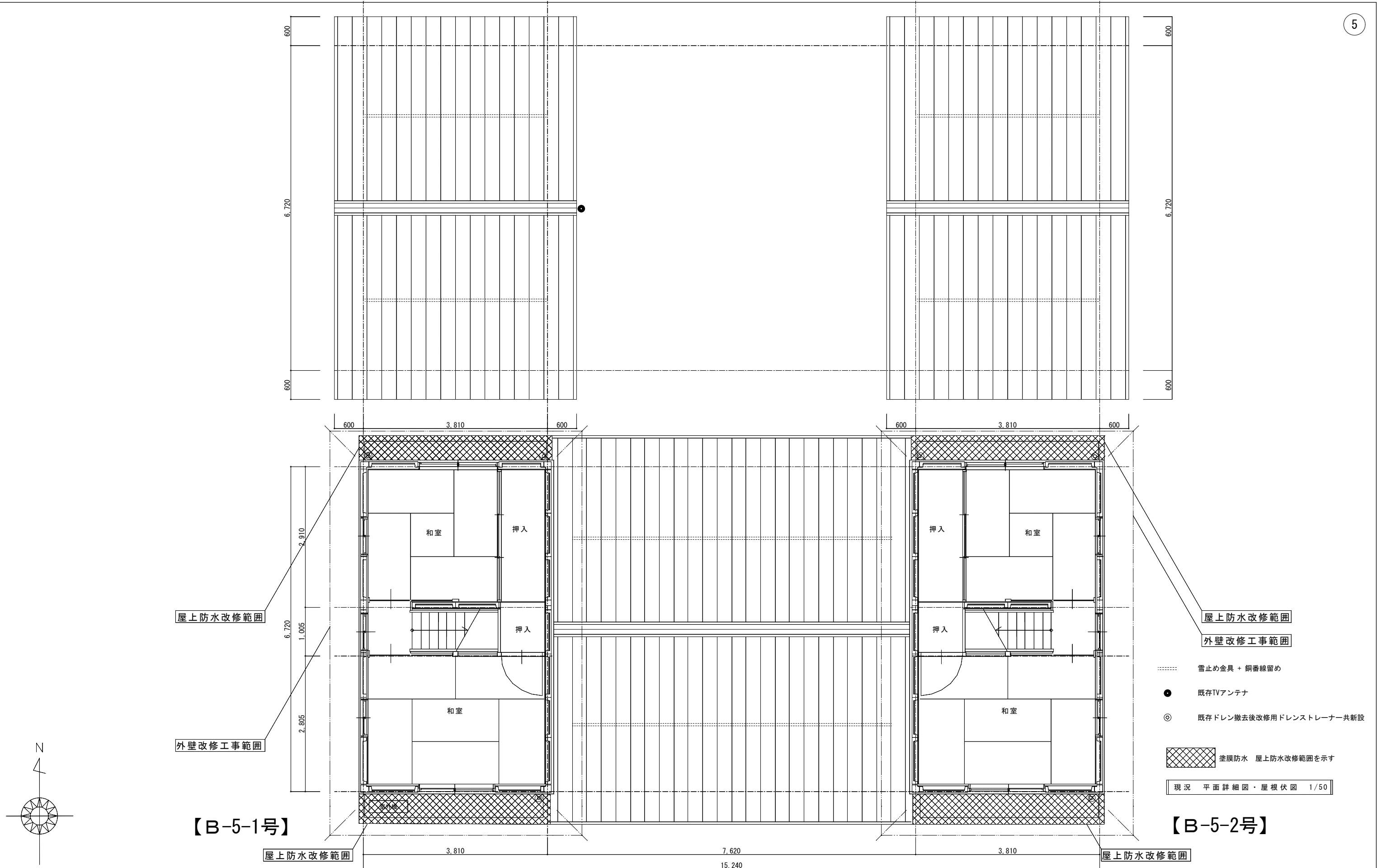
DRAWN	...
DATE	...
CHECK	...
DATE	...

管理建築士
 一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (カ) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-27
1階平面詳細図	1/50				41枚ノ内
B-5-1, B-5-2					◆SHEET No◆



屋上防水改修範囲

外壁改修工事範囲

【B-5-1号】

屋上防水改修範囲

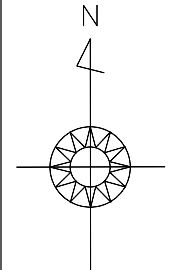
外壁改修工事範囲

【B-5-2号】

- 雪止め金具 + 銅番線留め
- 既存TVアンテナ
- ◎ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設

塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

現況 平面詳細図・屋根伏図 1/50



DRAWN	..
DATE	..
CHECK	..
DATE	..

管理建築士
一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (办) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

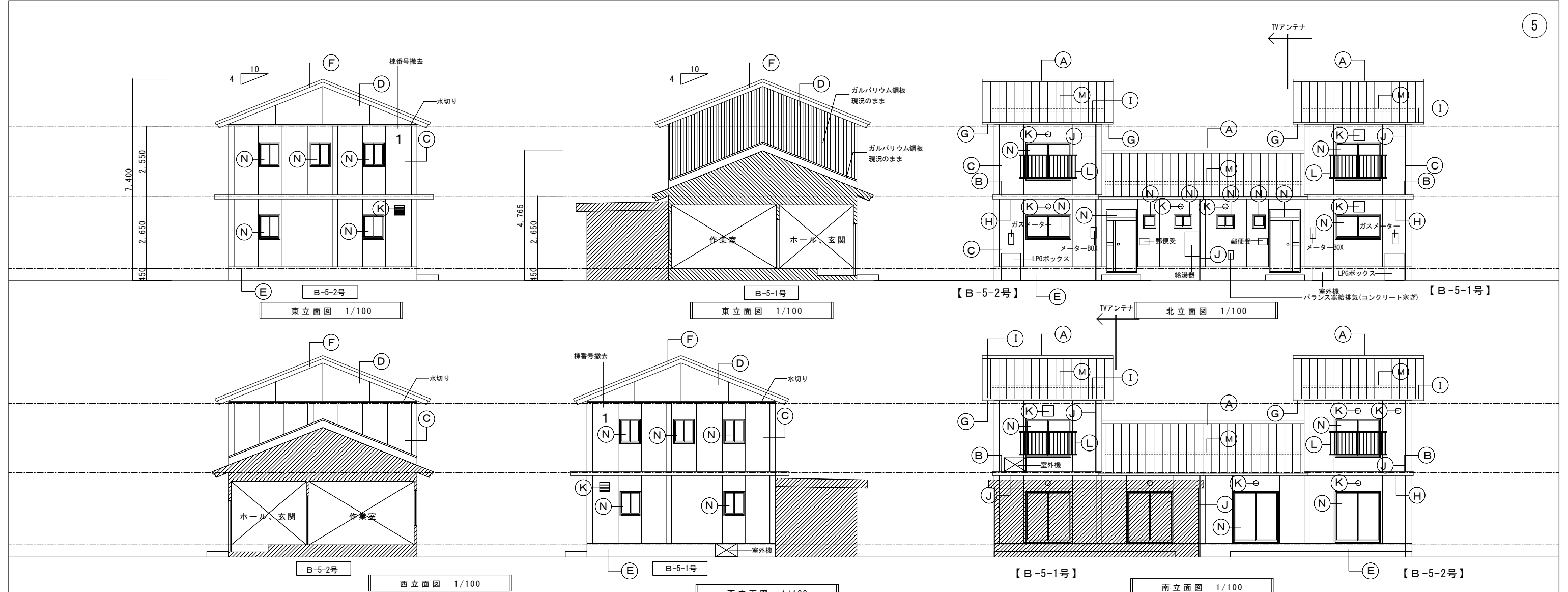
◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆
2階平面詳細図・屋根伏図
B-5-1, B-5-2

◆SCALE◆
1/50

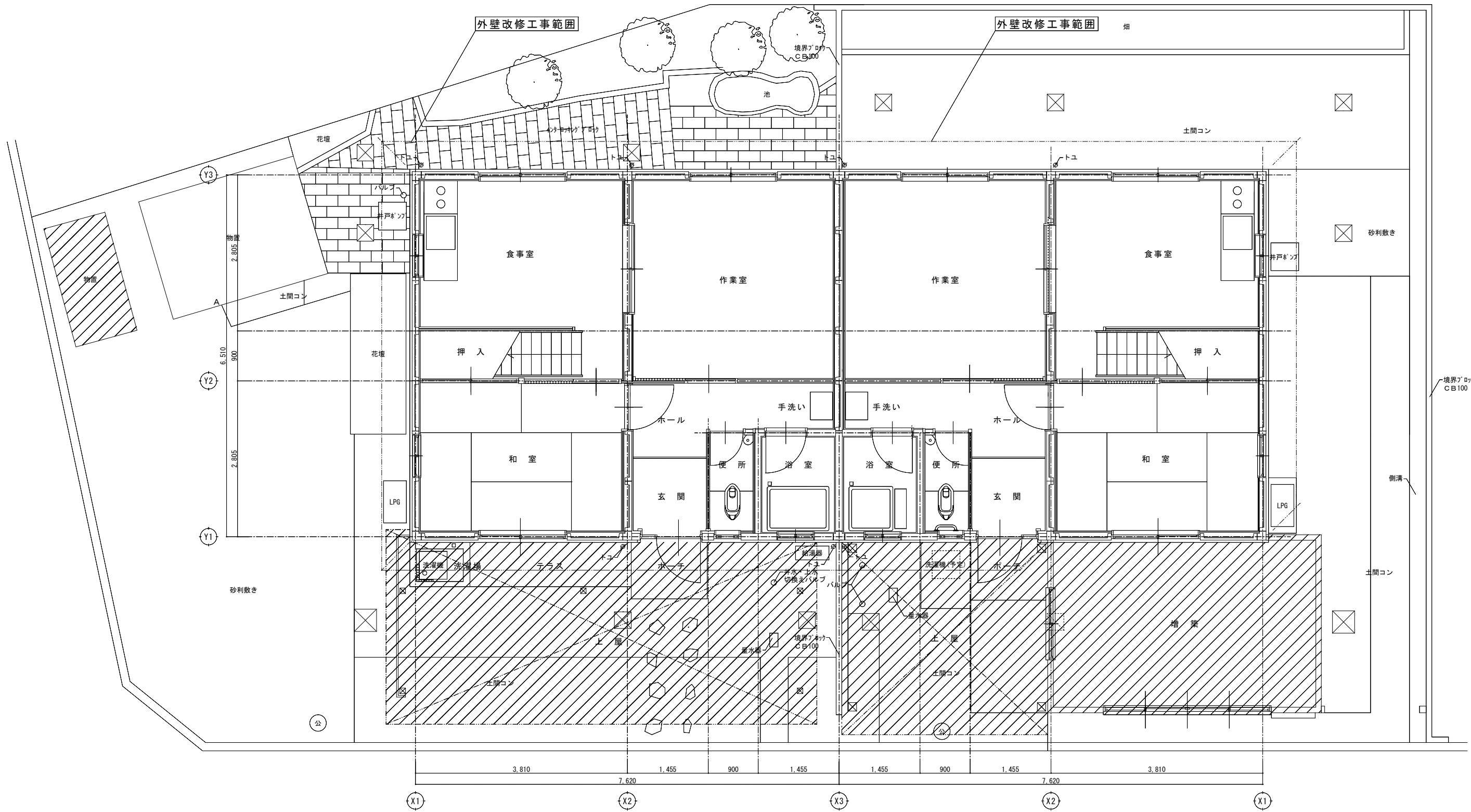
MANAGER	CHECKED	DRAWN

A-28 / 41枚ノ内
◆SHEET No◆



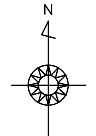
特記事項	
1.	複層塗材Eはエスケー化研製のレナラック又は同等以上とする。
2.	PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3.	既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4.	バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設 バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5.	軒種・壁種は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く種については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6.	外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7.	空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8.	施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9.	既設ラスモルタル + リシン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10.	外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11.	株番号は撤去を行うこと。
12.	換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研製のクリーンマイルド同等以上とする。
13.	既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14.	工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15.	ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す	

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(B)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(C)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り:カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(D)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り:カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(F)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り機・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(G)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(I)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共) 集水器 撤去処分	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(J)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(K)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラー・スリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(L)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(M)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(N)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



【C-1-1号】

【C-1-2号】



 増築範囲を示す

現況 平面詳細図 1/50

DRAWN	-	-
DATE	-	-
CHECK	-	-
DATE	-	-

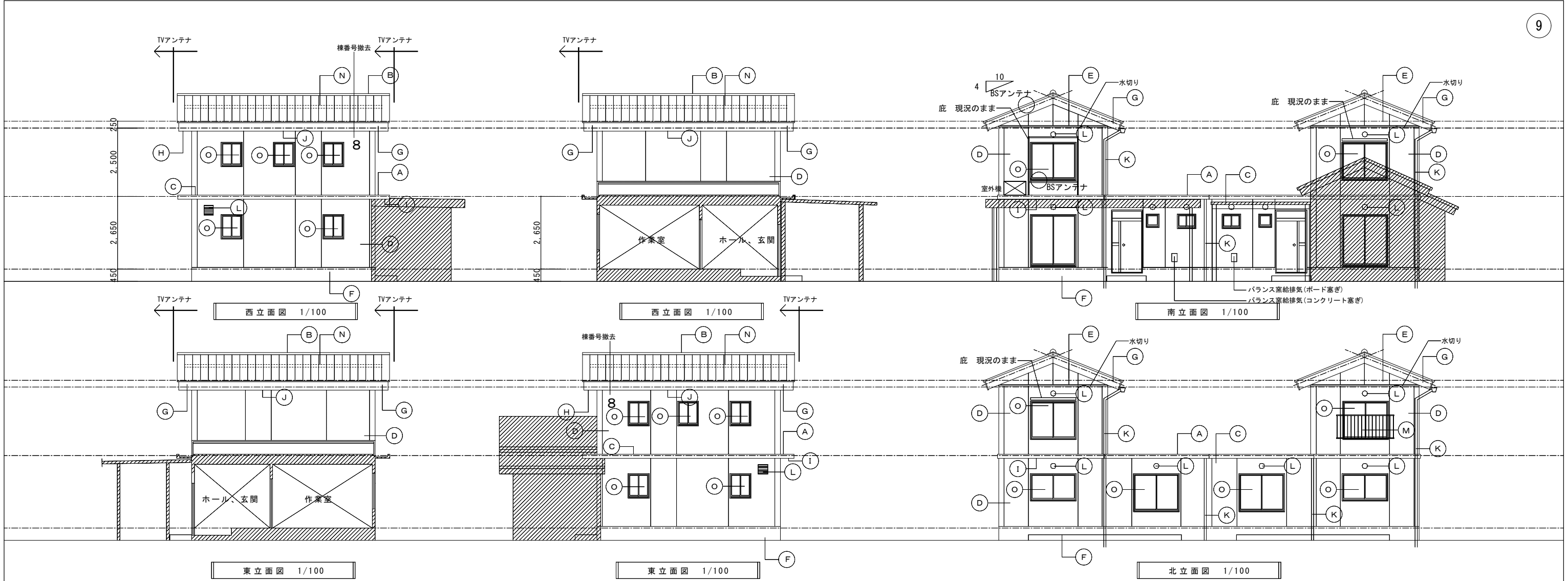
管理建築士
一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (カ) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN
1階平面詳細図	1/50			
C-1-1, C-1-2				

A-30 / 41枚ノ内
◆SHEET No◆



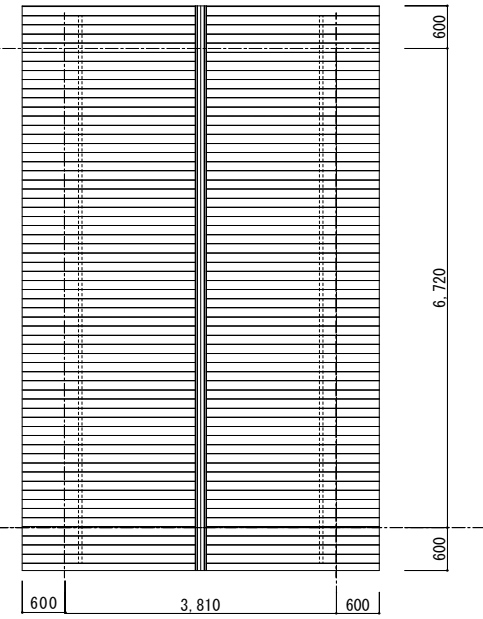
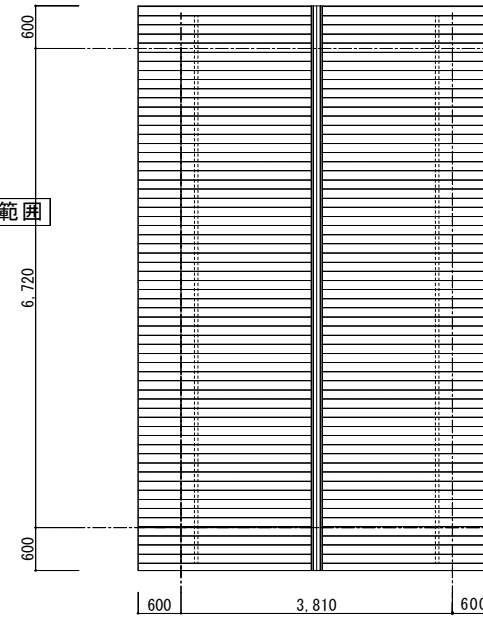
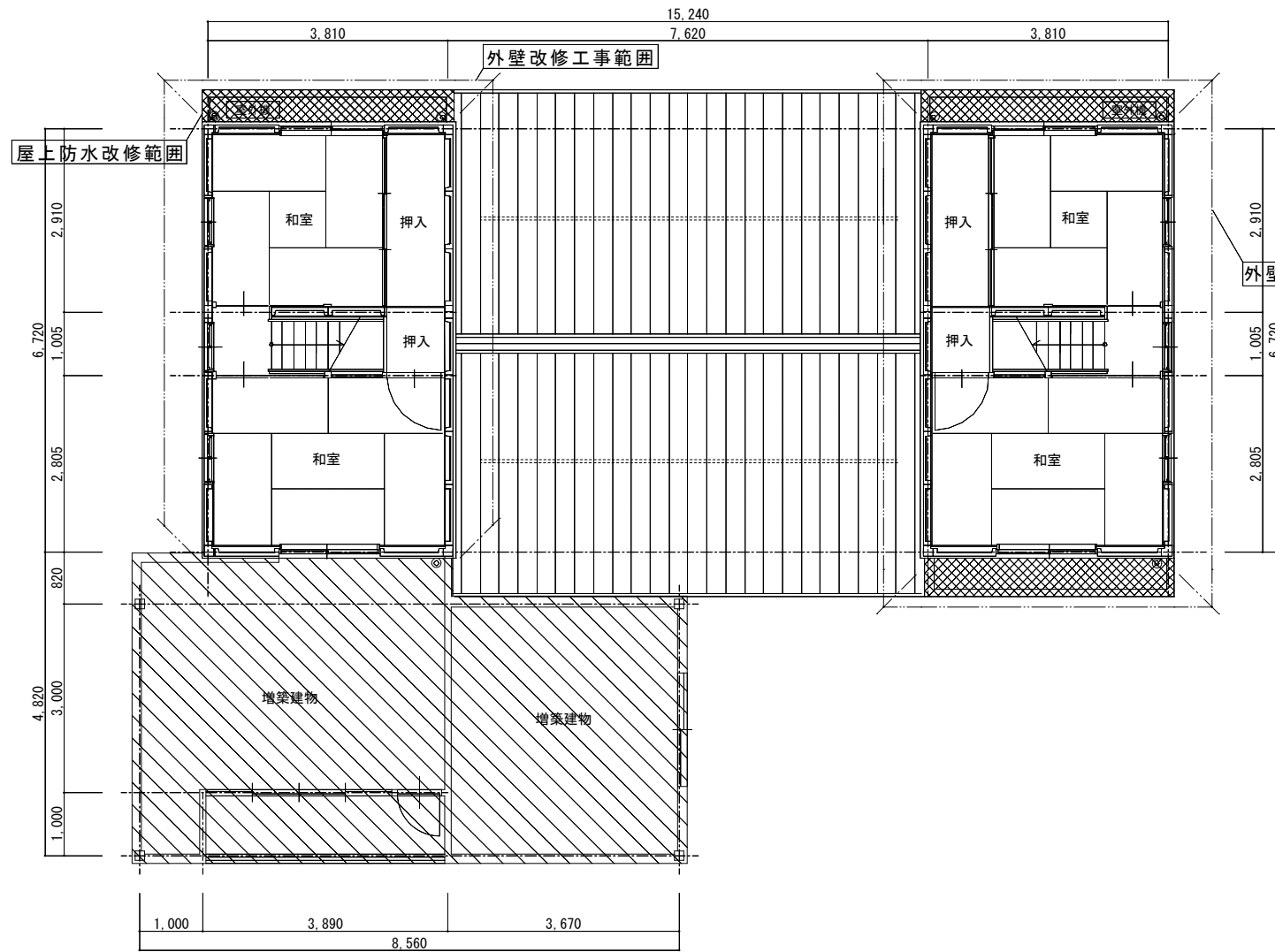
特記事項

1. 複層塗材Eはエスケー化研削のレナラック又は同等以上とする。
2. PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3. 既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4. バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設
バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5. 軒樋・壁樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付け樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6. 外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7. 空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8. 施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9. 既設ラスモルタル + リンシ面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10. 外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11. 棟番号は撤去を行うこと。
12. 換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研削のクリーンマイルド同等以上とする。
13. 既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14. 工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15. ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、WP塗り替えとする。
16. 既設防水撤去～新設防水層施工までの間、雨漏れ等無いよう適切に養生を行うこと。

■部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	平場 塩ビシート防水 撤去処分 立面 塩ビシート防水 撤去処分	平場 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-1) 新設 立面 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(B)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(C)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(D)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(F)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(G)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り桟・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(I)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(J)	種	軒樋 半丸 105 受金物市販品	塩ビ製 新設(掘り金物共) 集水器 新設
(K)	種	壁樋 φ60 掘り金物市販品(1階その他)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掘り金物共)
(L)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラースリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(M)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(N)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(O)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)

DRAWN	管理建築士 一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749)62-2651	◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-32
DATE			立面図	1/100				41枚ノ内
CHECK			◆TITLE◆					◆SHEET No◆
DATE			長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)	C-1-1, C-1-2				



現況 屋根伏図 1/75

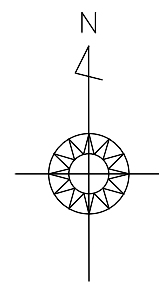
- 雪止め金具 + 銅番線留め
- 既存TVアンテナ
- ◎ 既存ドレン撤去後改修用ドレンストレーナー共新設

塗膜防水 屋上防水改修範囲を示す

現況 平面詳細図・屋根伏図 1/75

【C-2-1号】

【C-2-2号】



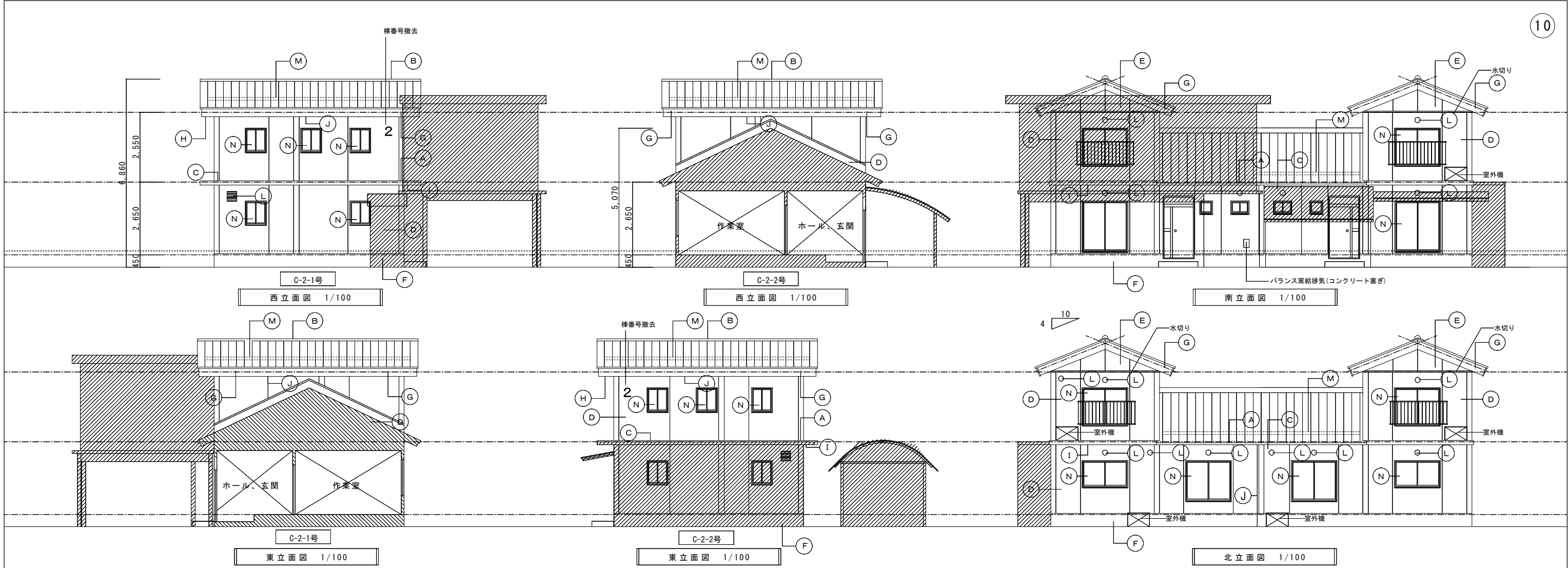
DRAWN	..	
DATE	..	
CHECK	..	
DATE	..	

管理建築士
一級建築士 (大臣) 登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (办) 152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

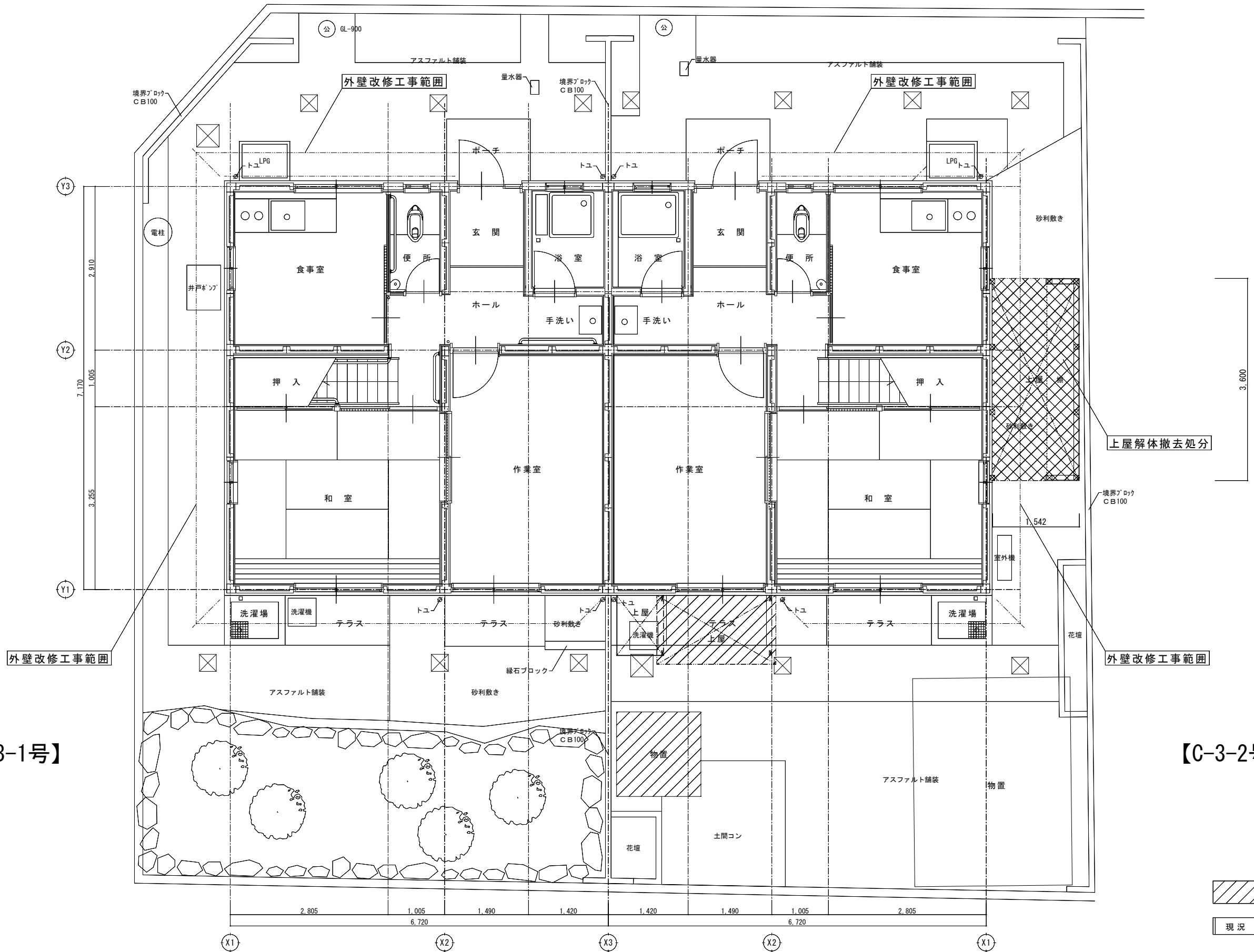
◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事 (第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-34
2階平面詳細図	1/75				41枚ノ内
C-2-1, C-2-2					◆SHEET No◆



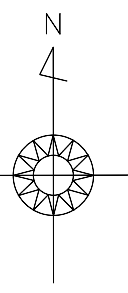
特記事項	
1.	複層塗材Eはエスケー化研練のレナラック又は同等以上とする。
2.	PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3.	既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4.	バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設 バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5.	軒樋・壁樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6.	外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7.	空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8.	施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9.	既設ラスモルタル + リン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10.	外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11.	棟番号は撤去を行うこと。
12.	換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研練のクリーンマイルド同等以上とする。
13.	既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14.	工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15.	ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す	

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(B)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(C)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(D)	外壁	ラスモルタル下地リシン吹付 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(F)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り桟・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(G)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(I)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共) 集水器 撤去処分	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(J)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(K)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラーズリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(L)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(M)	雪止め金具	鉄部 銅番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(N)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)



【C-3-1号】

【C-3-2号】



増築範囲を示す

現況 平面詳細図 1/50

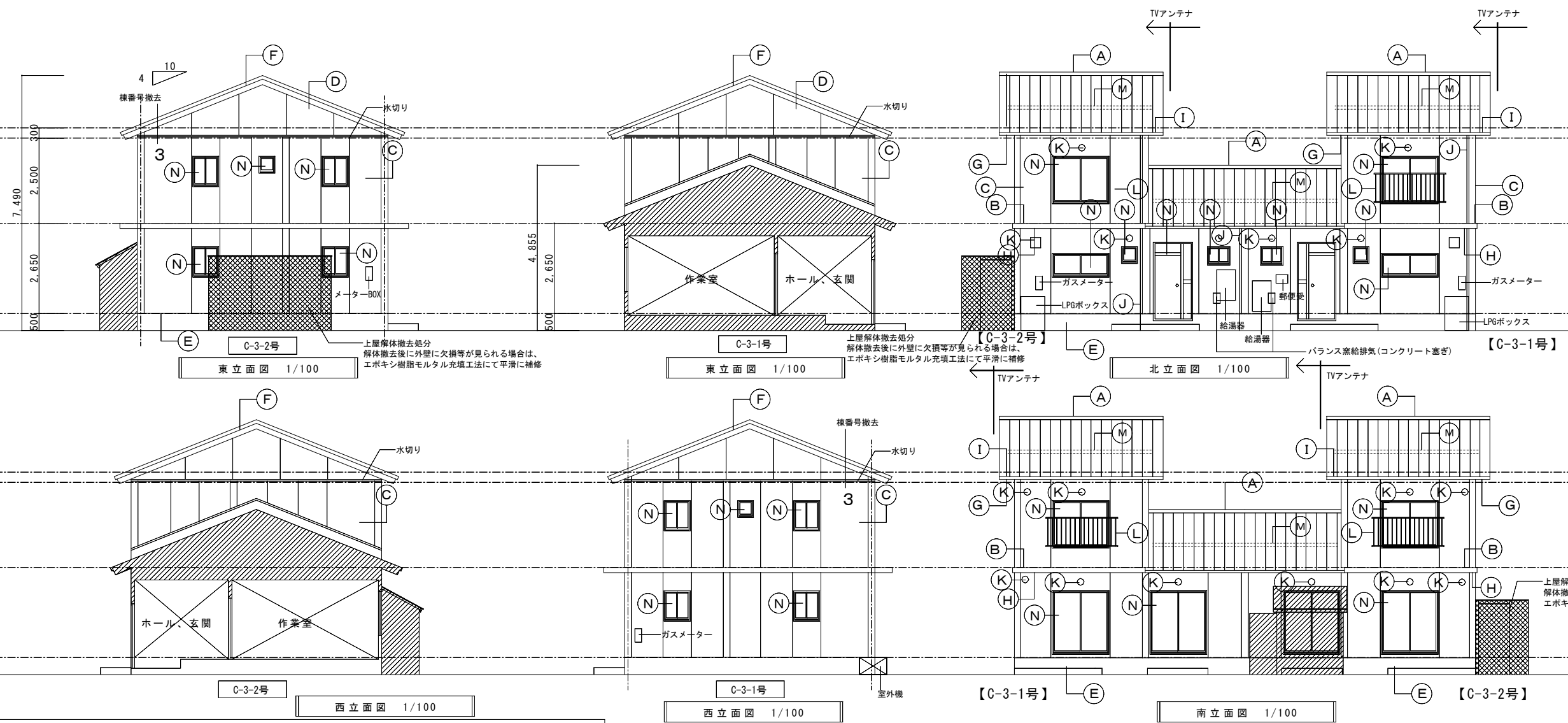
DRAWN	...
DATE	...
CHECK	...
DATE	...

管理建築士
一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子
一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号

株式会社 大村建築設計事務所
一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
TEL (0749) 62-2651

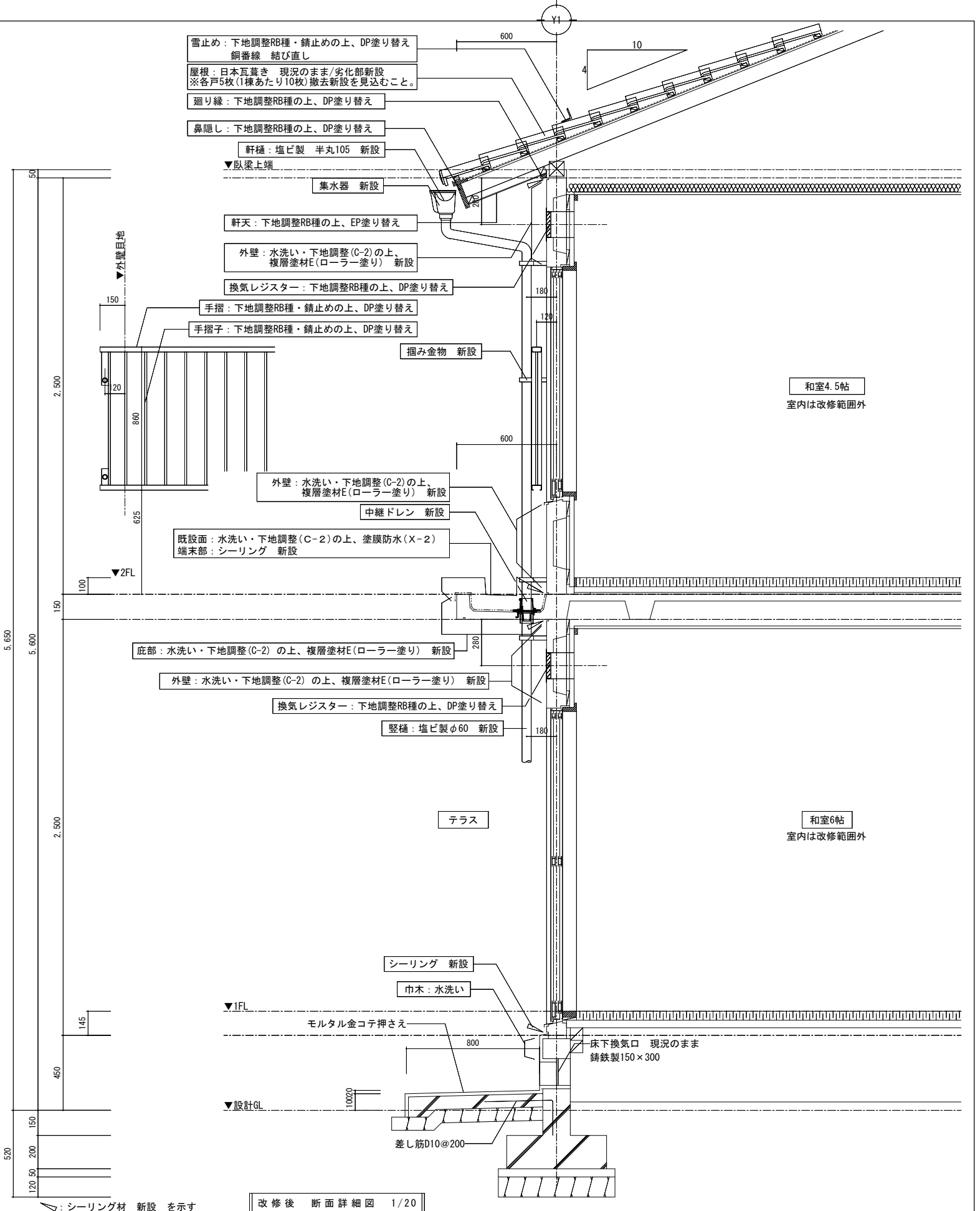
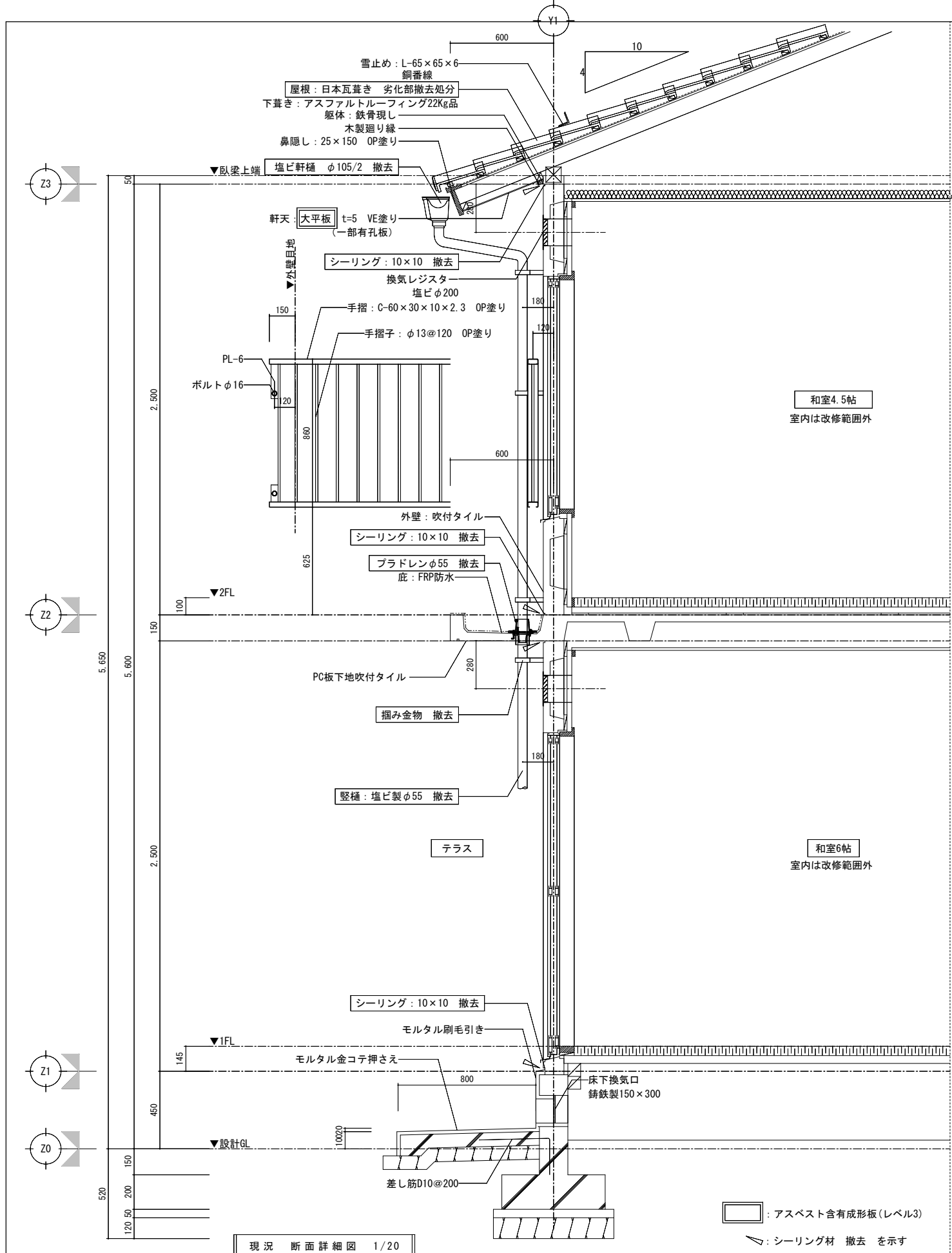
◆TITLE◆
長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)

◆SHEET TITLE◆	◆SCALE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-36
1階平面詳細図	1/50				41枚ノ内
C-3-1, C-3-2					◆SHEET No◆

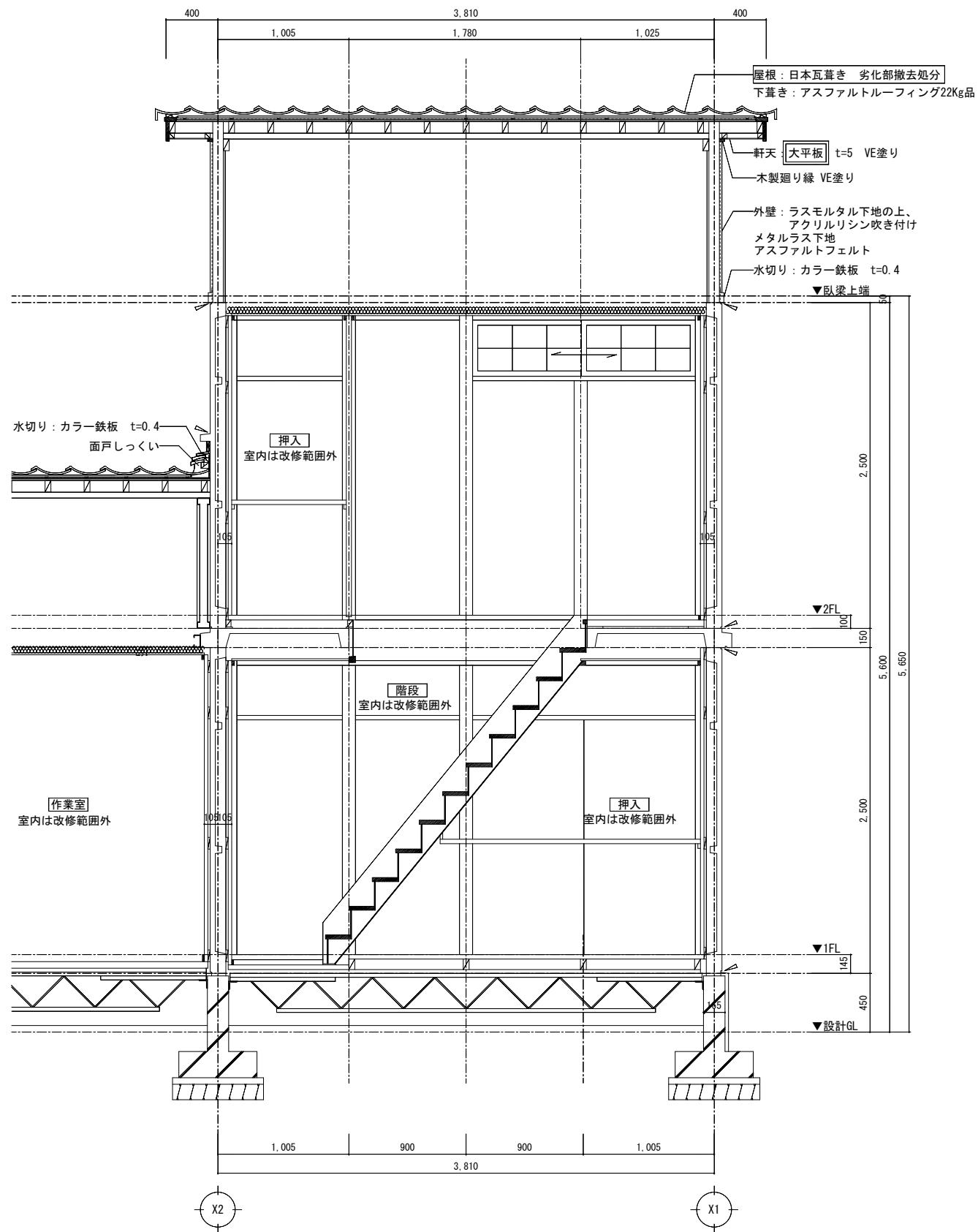


特記事項	
1.	複層塗材Eはエスケー化研牒のレナラック又は同等以上とする。
2.	PCジョイント部及び水切廻り・巾木取合部・庇廻り・レンジフード廻り・クーラーキャップ廻り、廻り縁は全てシーリング打替えとし、施工箇所は図示及び監理者の指示箇所とする。また、図示なくとも必要な箇所には打替えを行うこと。
3.	既設吹付面にひび割れがあり精密調査し、PC板のひび割れである場合は、Uカットシーリング工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。浴室廻りのPCとモルタル塗り取合部のクラックは、同工法にて処理とする。爆裂部については、エポキシ樹脂充填工法にて処理する。
4.	バランス窯給排気(コンクリート塞ぎ)部分は、周囲目地切 + シーリング打ち + 外壁仕上材 新設 バランス窯給排気(ボード・鉄板塞ぎ)部分は、下地調整RB種の上、DP塗り替え
5.	軒樋・壁樋は撤去・新設とする。また、浴室の面する外壁に取り付く樋については、受金物の撤去において極力振動を与えないように配慮すること。
6.	外壁改修に支障のある、空調室外機・ボイラー・オイルタンク等の設備機器及び付属物の一時撤去・復旧は本工事に含むこととする。(監理者の指示)
7.	空調室外機、アンテナ等の設備機器の一時撤去・復旧により機能障害が生じた場合の現状復旧は、本工事に含むこととする。
8.	施工要領書、材料承認等は、監理者の指示により施工のこと。
9.	既設ラスモルタル + リシン面にひび割れがあり精密調査し、手動式エポキシ樹脂注入工法(3m/棟)にて処理の上、仕上材ローラー塗りとする。
10.	外壁改修に支障のある物置等の移設について、内部の残置物は入居者にて移設を行い、物置・家電・その他本体の移設は本工事に含むこととする。
11.	棟番号は撤去を行うこと。
12.	換気フード、クーラーキャップ等の樹脂製の塗り替えはエスケー化研牒のクリーンマイルド同等以上とする。
13.	既設建具はクリーニング(片面)し、工事に際しては適切に養生を行うこと。
14.	工事着手前に建物の各部位ごとの写真を撮影すること。
15.	ガスメーターの下地板については、下地調整RB種の上、DP塗り替えとする。
部分は増築部分及び、増築に伴う改修工事困難箇所(改修工事対象外)を示す	

記号	部位	改修前 外部仕上	改修後 外部仕上
(A)	屋根	日本瓦葺 4寸勾配	現況のまま ※各戸5枚(1棟あたり10枚)撤去新設を見込むこと。
(B)	庇	ウレタン塗膜防水	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、ウレタン塗膜防水(X-2) 新設
(C)	外壁	PC板下地 吹付タイル 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(D)	外壁	ラスモルタル下地吹付 水切り: カラー鉄板 t=0.4	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設 既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り
(E)	巾木	モルタル刷毛引(巾木)	既設 水洗い
(F)	木部	破風板・鼻隠し板・廻り縁・登り桟・瓦座 OP塗	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(G)	軒裏	大平板 t5 VP	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え
(H)	軒裏	PC板下地吹付タイル	既設 水洗い・下地調整(C-2)の上、複層塗材E(ローラー塗り) 新設
(I)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共) 集水器 撤去処分	塩ビ製 新設(掴み金物共) 集水器 新設
(J)	種	塩ビ製 撤去処分(掴み金物共)	塩ビ製(カラーVP) 新設(掴み金物共)
(K)	換気・スリーブ	レジスター φ200、フード クーラー・スリーブ	既設 下地調整RB種の上、DP塗り替え SUS製 現況のまま
(L)	手摺	鋼製手摺 OP塗り	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え
(M)	雪止め金具	鉄部 鋼番線	既設 下地調整RB種・錆止めの上、DP塗り替え 既設 結び直し
(N)	建具	サッシ、ドア	クリーニング(片面)

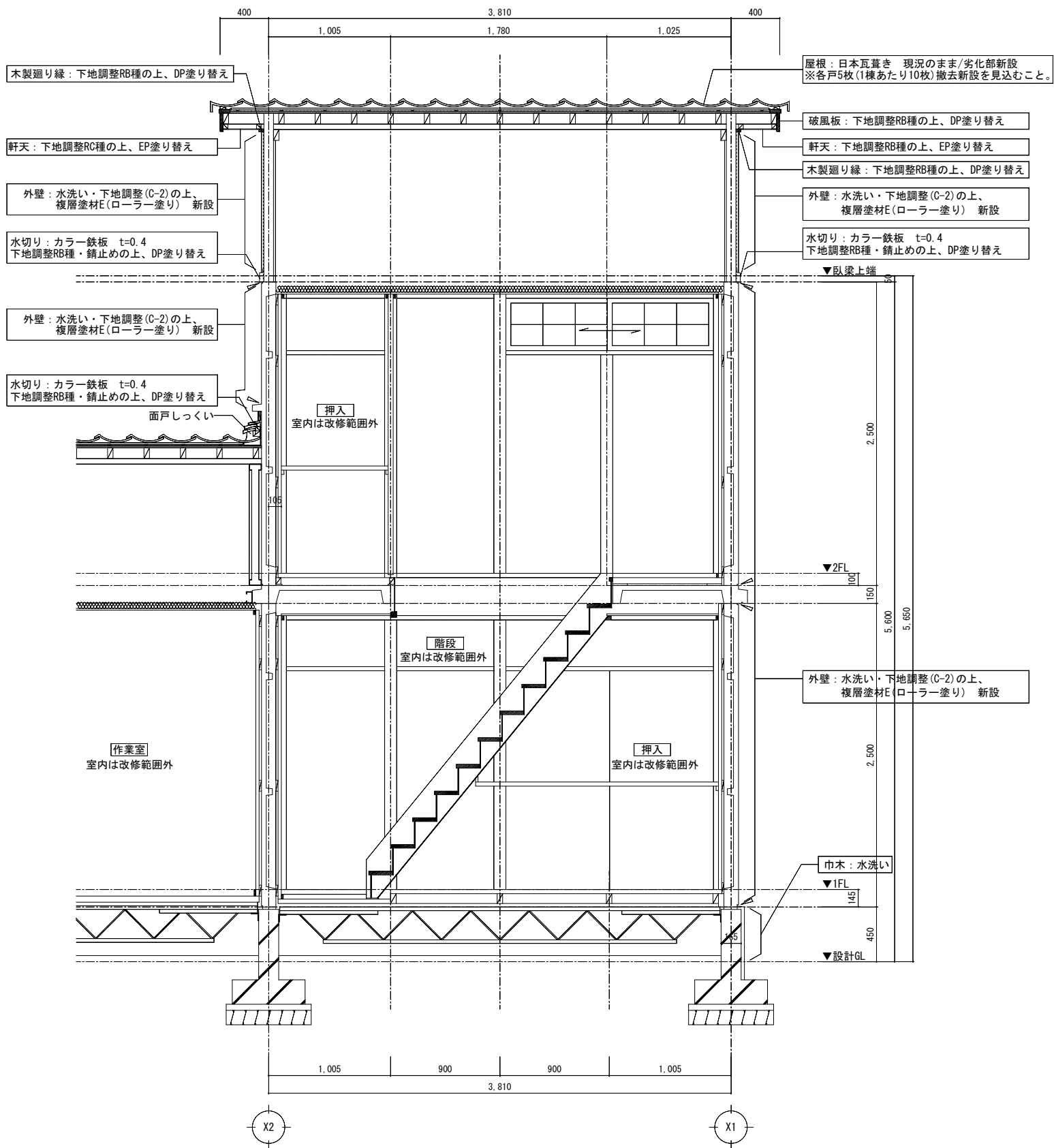


DRAWN	管理建築士	株式会社 大村建築設計事務所	◆SHEET TITLE◆	◆SHEET TITLE◆	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-39 41枚ノ内 ◆SHEET No◆
DATE	一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子	株式会社 大村建築設計事務所	◆TITLE◆	断面詳細図				
CHECK	一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号	一級建築士事務所 代表取締役 大村 修	長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)	(瓦屋根タイプI)				
DATE		TEL (0749) 62-2651						



現況 断面詳細図 1/30

: アスベスト含有成形板(レベル3)
 : シーリング材 撤去 を示す



改修後 断面詳細図 1/30

: シーリング材 新設 を示す

DRAWN	...
DATE	...
CHECK	...
DATE	...

管理建築士
 一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号

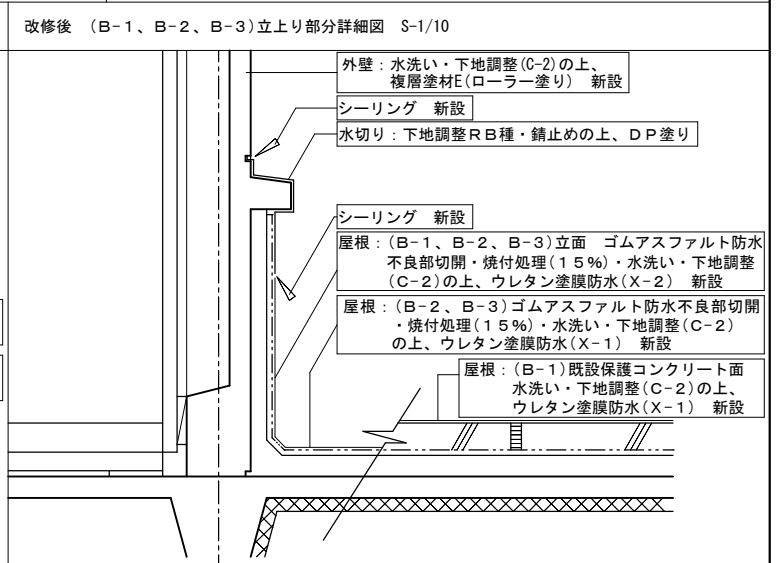
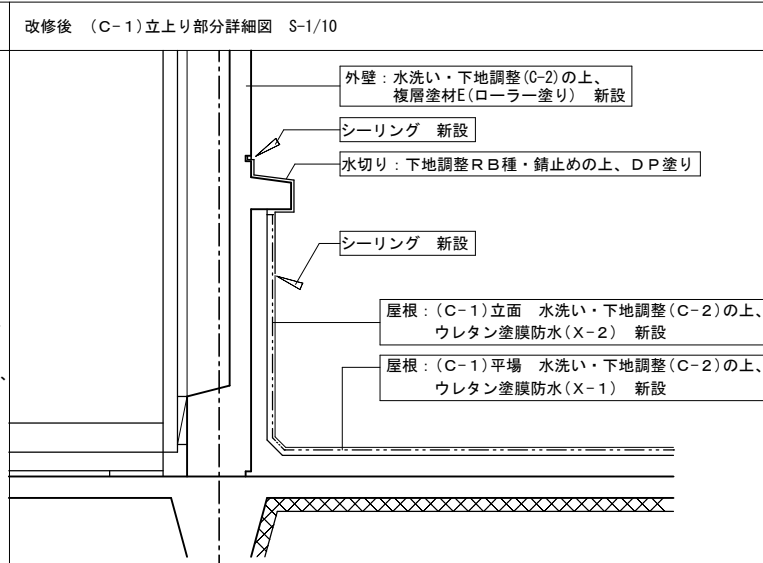
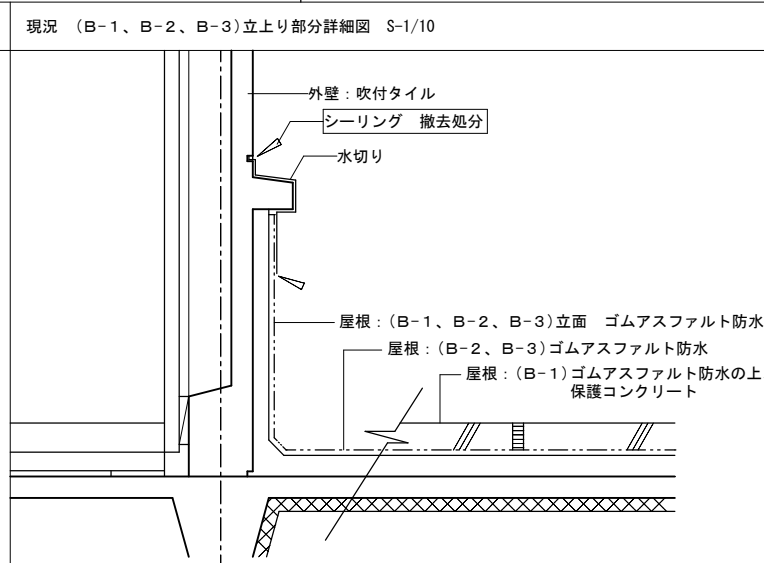
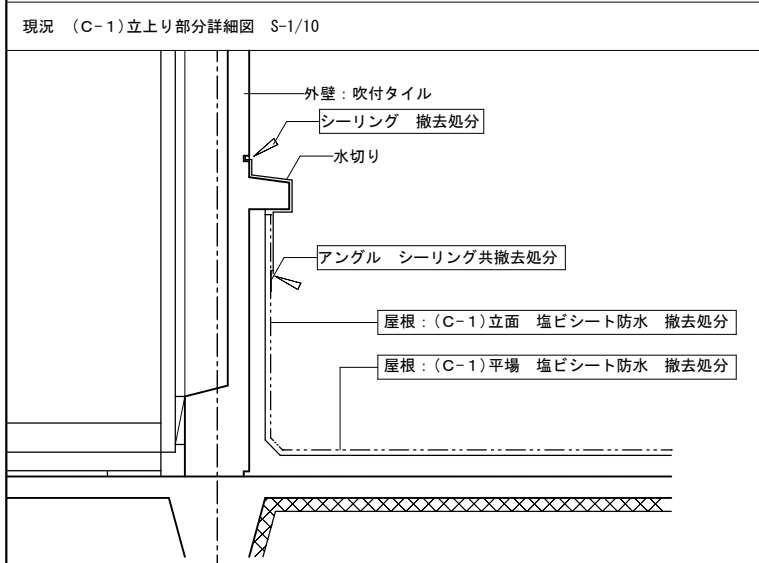
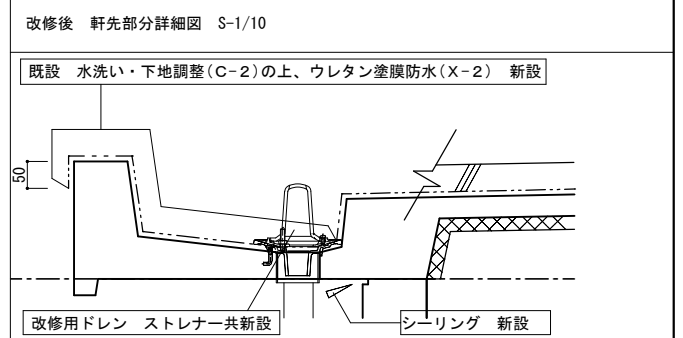
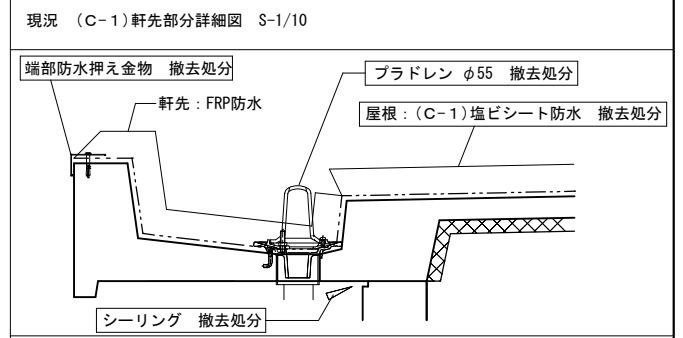
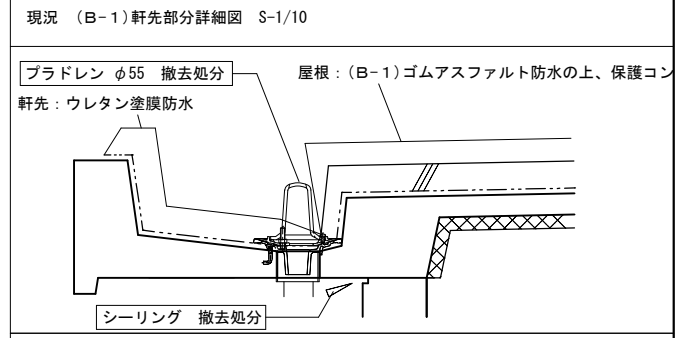
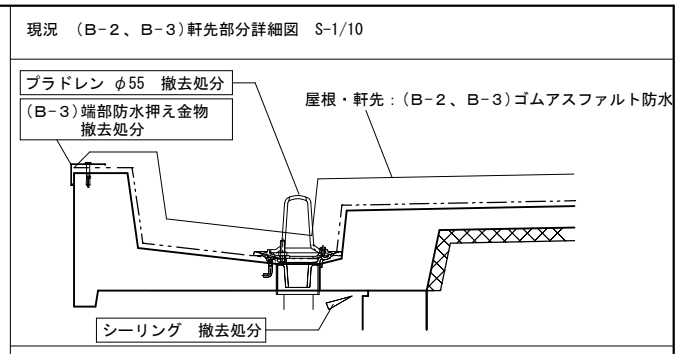
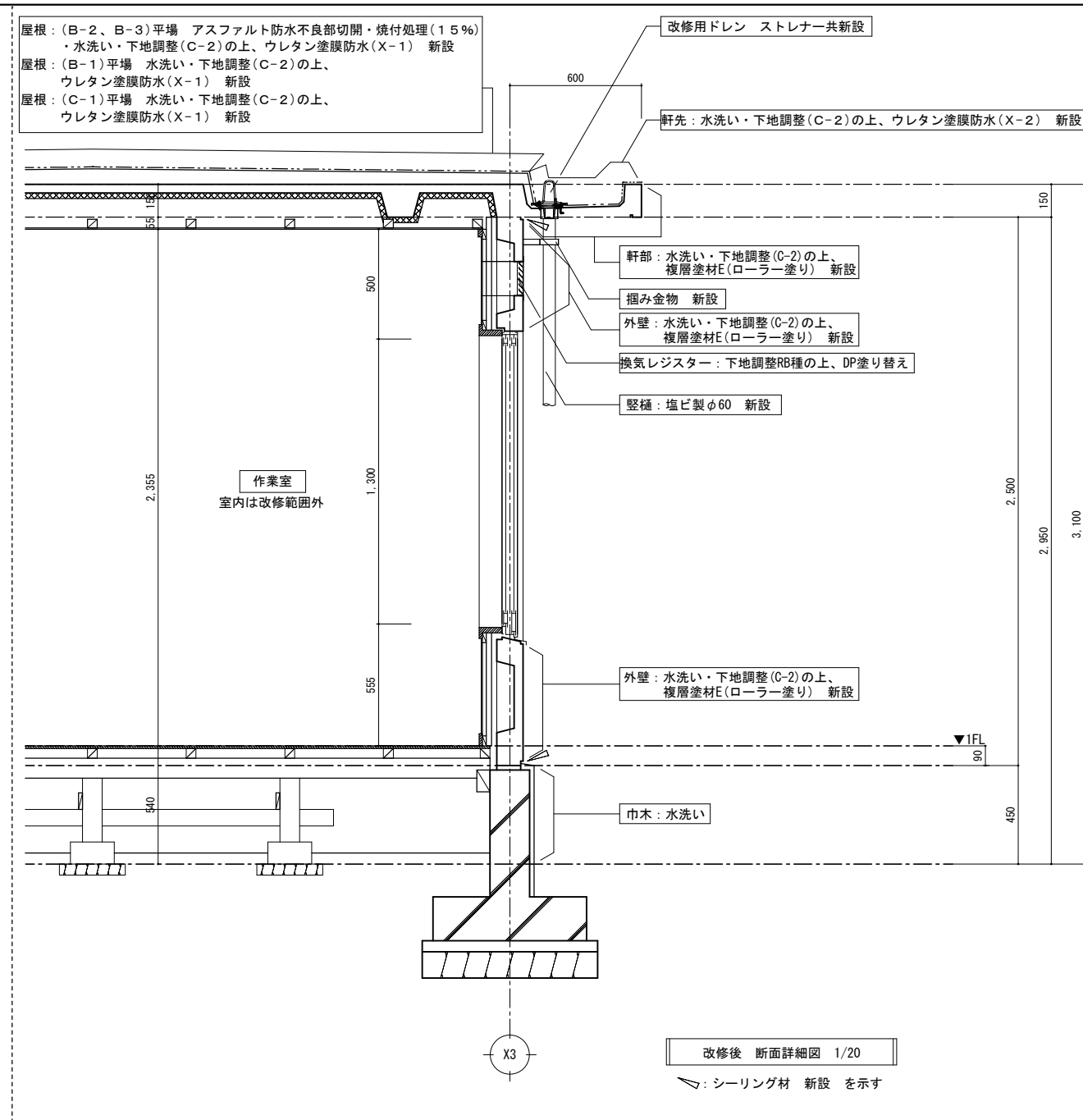
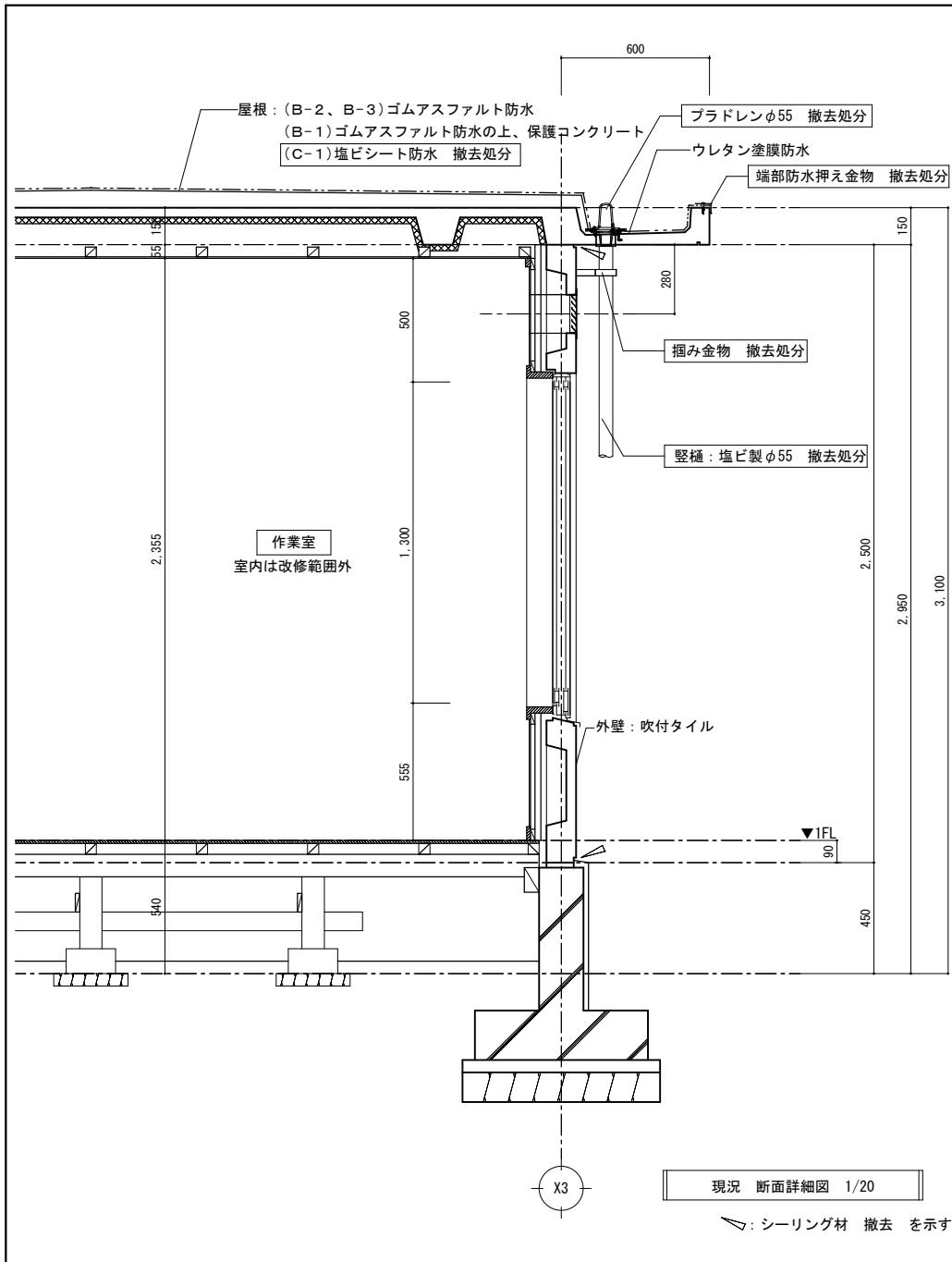
株式会社 大村建築設計事務所
 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修
 TEL (0749) 62-2651

◆TITLE◆
 長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)

◆SHEET TITLE◆
 断面詳細図
 (瓦屋根タイプⅡ)

◆SCALE◆ 1/30
 MANAGER CHECKED DRAWN

A-40 / 41枚ノ内
 ◆SHEET No◆



管理建築士 一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録(カ)152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749)62-2651	◆TITLE◆ 長浜地区改良住宅外壁等改修工事(第五期)	◆SHEET TITLE◆ 断面詳細図 部分詳細図 (陸屋根下屋部)	◆SCALE◆ 1/20 1/10	MANAGER	CHECKED	DRAWN	A-41 4.1 枚ノ内 ◆SHEET No◆
DRAWN								
DATE								
CHECK								
DATE								